

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches



Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

604
54

604-54
1200501531270

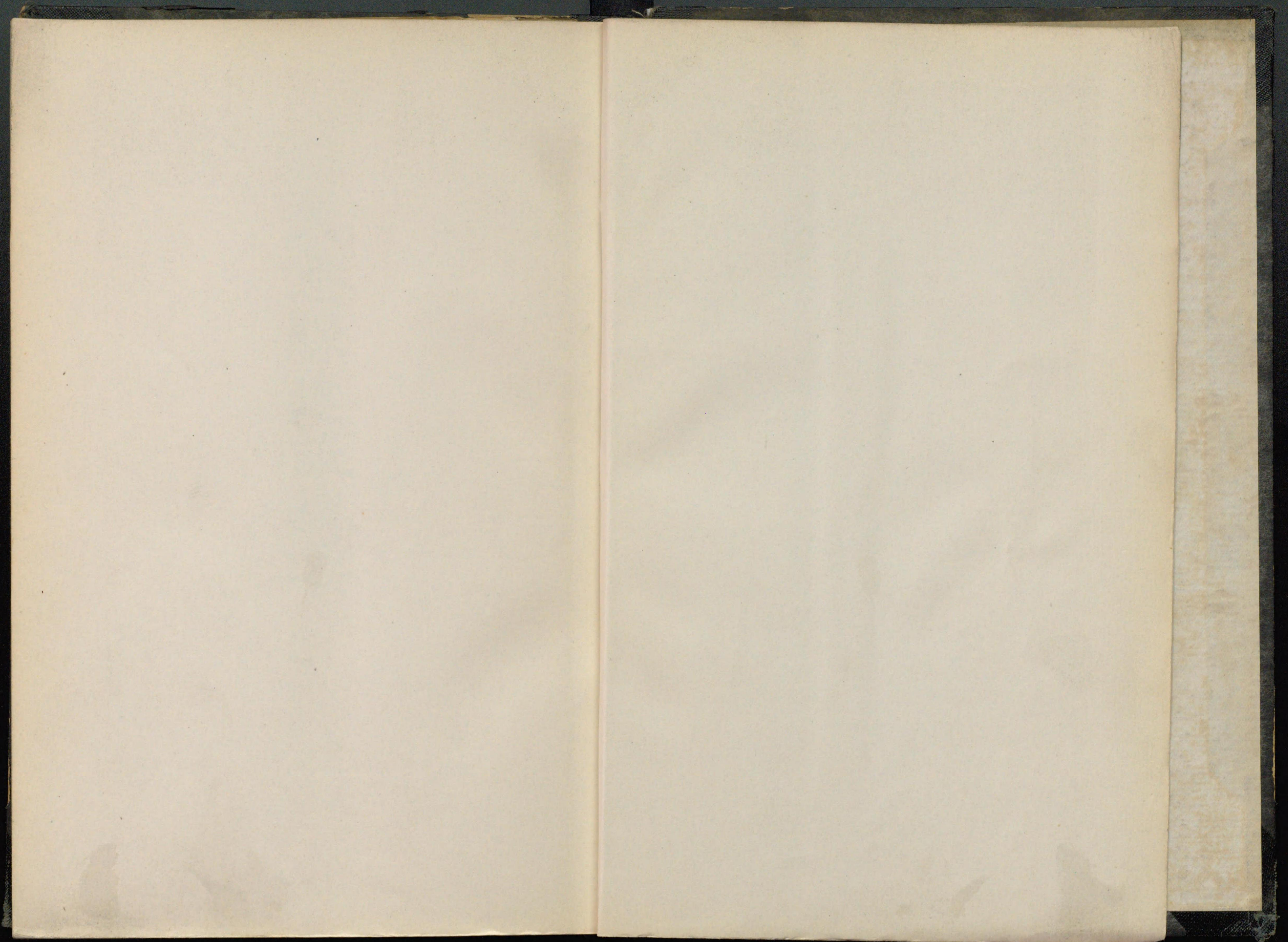
〇 複写

久慈線建設概要 鉄道省

昭和五年三月

久慈線建設概要

鐵道省





久慈線建設概要

鐵道省



604-54

緒言

- 一、本書は大正九年四月八戸久慈間線路の實測に着手以來昭和五年三月同線全通に至る迄の建設工事の梗概を記述せるものなり
- 二、本書は編纂當時未だ工事の完成に至らざるものありしを以て書中掲記せる數字の如きは後日精算の結果多少の異動を免れざるべし

昭和五年三月



八 戶 市 全 景



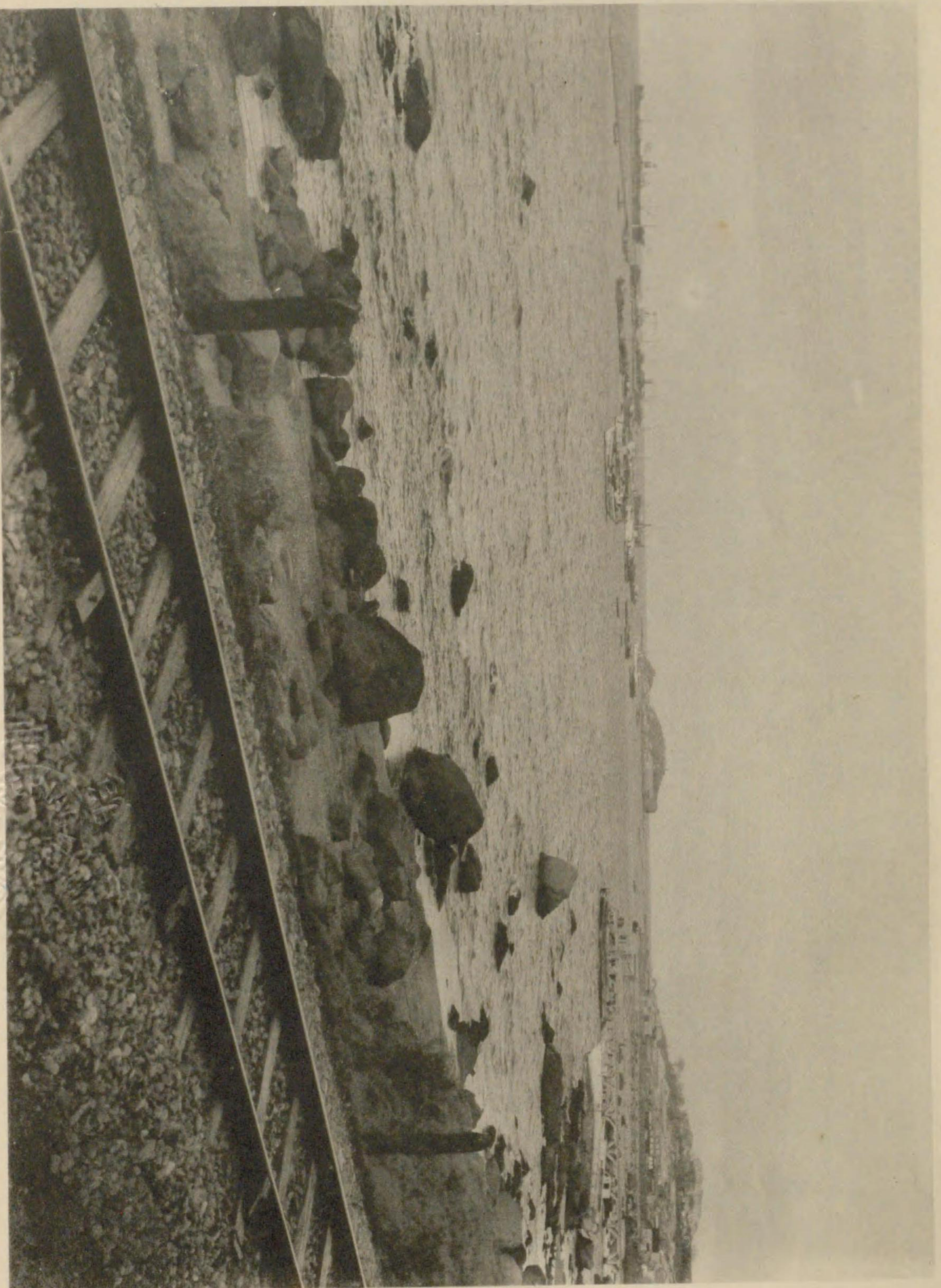
(第三回要聞)

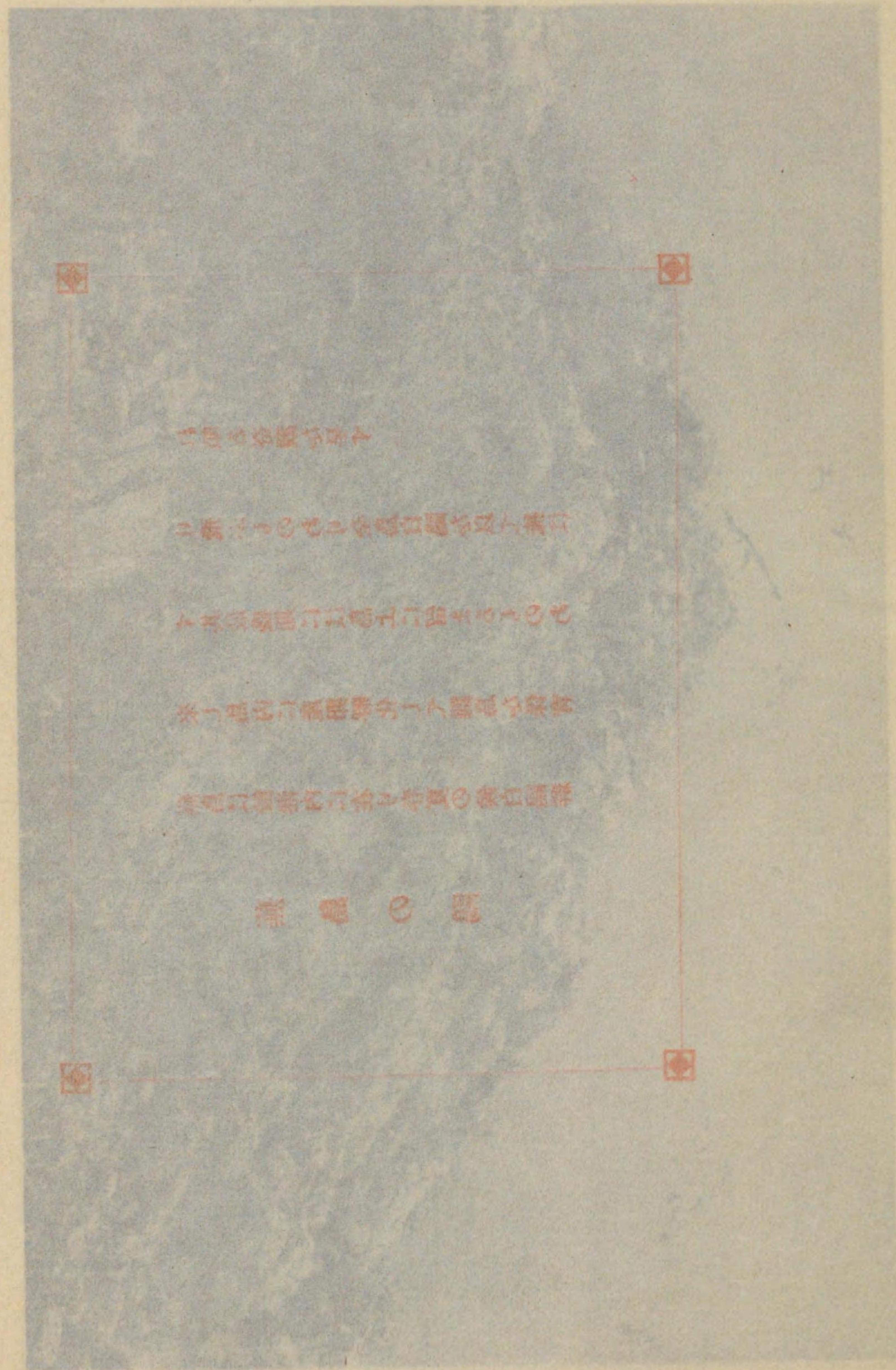
中央銀行は、二頁の月報を、
國內市場の二層構造が、
市場の供給するもの、
新工場の建設、
輸出の増進、
東北の復興、
東北の復興、
東北の復興、

新 報 時 報

鉾 港 遠 望

八月起點三哩七十鎮附近より鉾港を
望みたるものなり全港は八月市に屬
し東北に於ける屈指の良港にして汽
船捕鯨船及漁舟の出入夥しく最近漁
港としての築港工事昇竣功せるを以
て漁船の假泊するもの更に増加せり
港内波靜かに風景勝れ避暑釣魚に適
す 中央右右に見ゆるは無島なり
(第三圖参照)





は思ふに類する

は思ふに類する

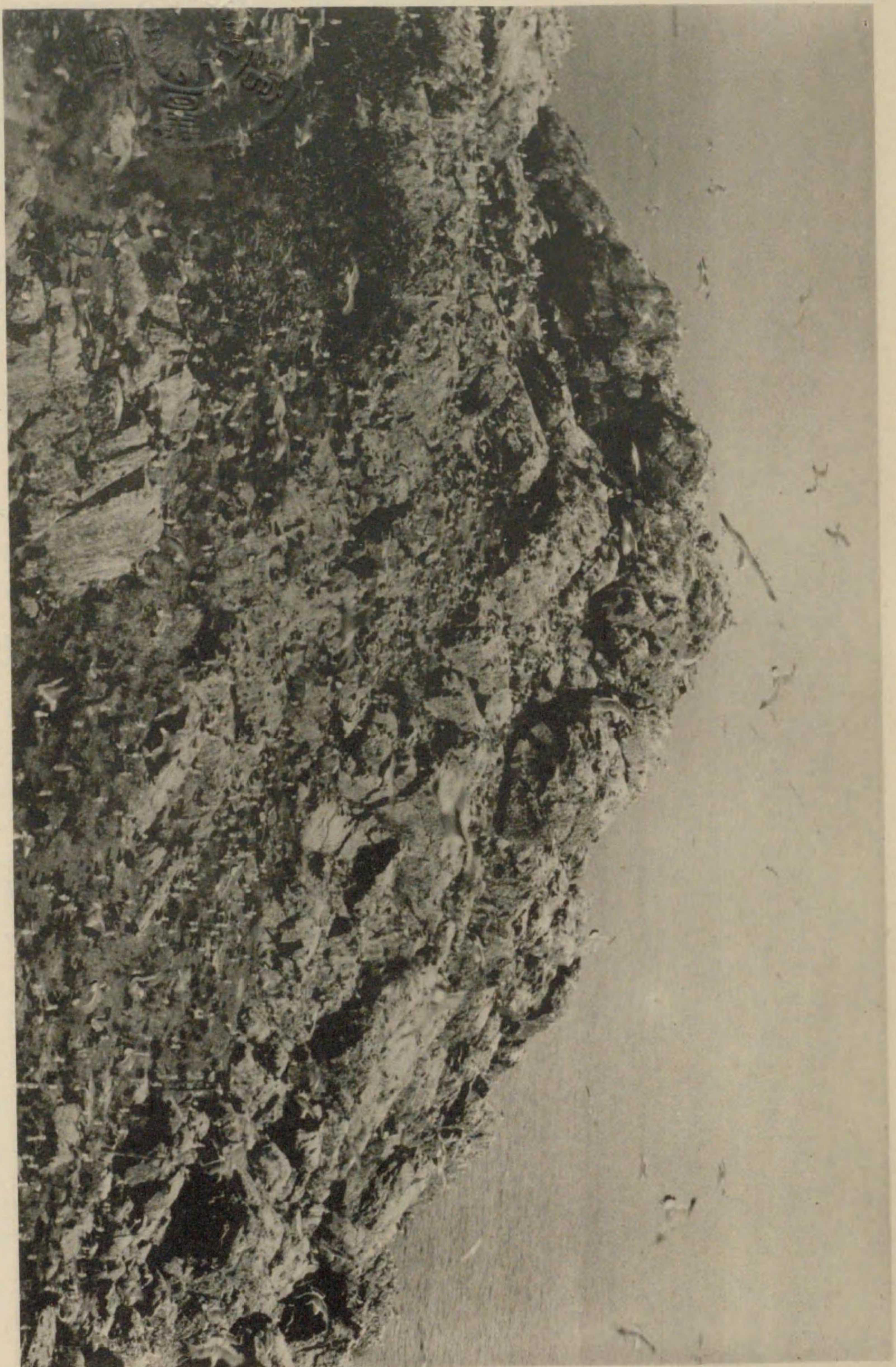
は思ふに類する

は思ふに類する

は思ふに類する

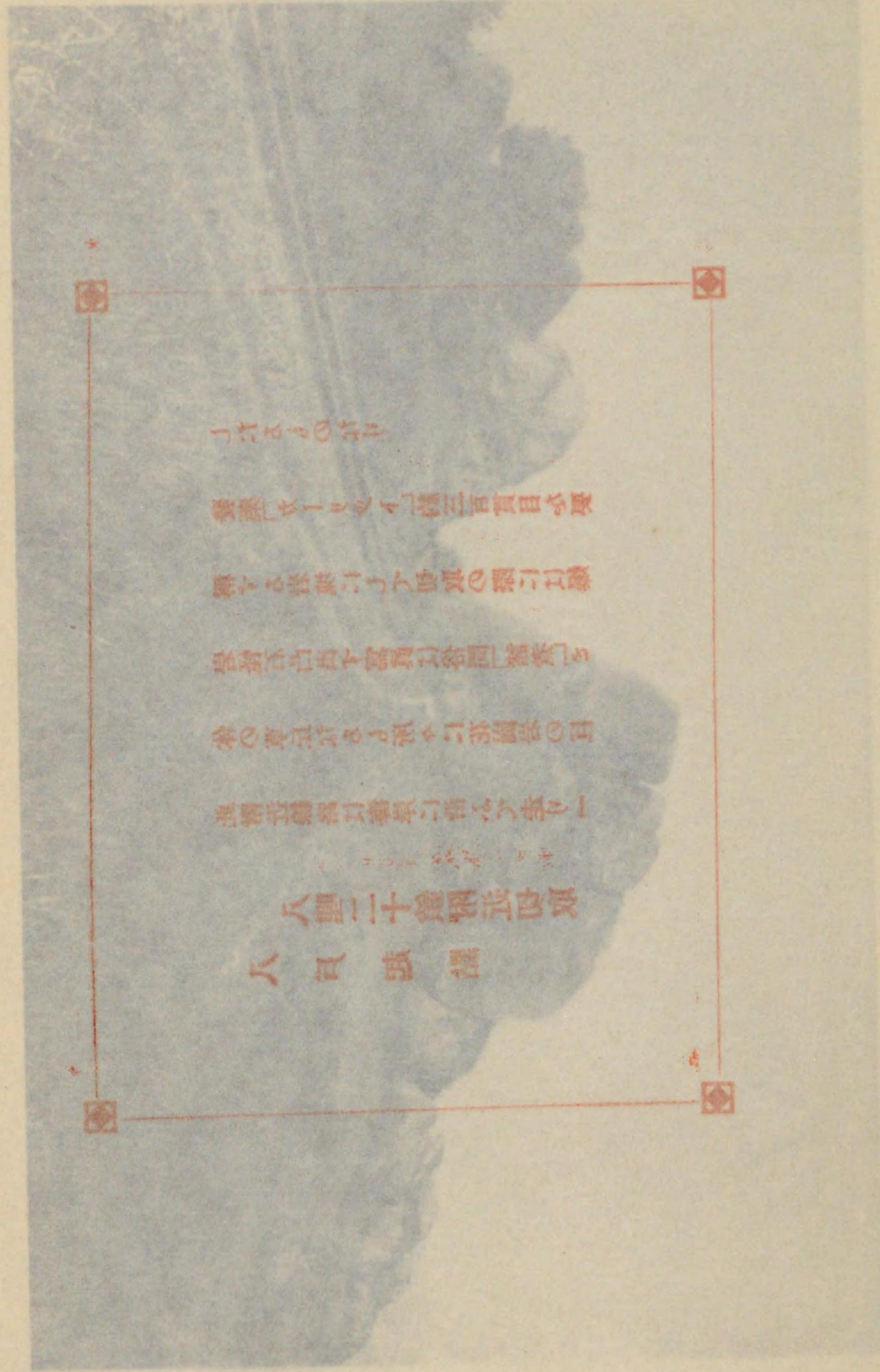
誠意の語





燕島の鷗

燕島は鯨港内に在り春夏の候白鷗群
來し島内に産卵孵化して雛鳥を保育
す其最盛期には島上に留まるものわ
り飛ぶものあり全島白鷗を以て掩は
れ頗る奇觀を呈す



「オオムシ」のせい

巻末「オオムシ」のせい

巻末「オオムシ」のせい

巻末「オオムシ」のせい

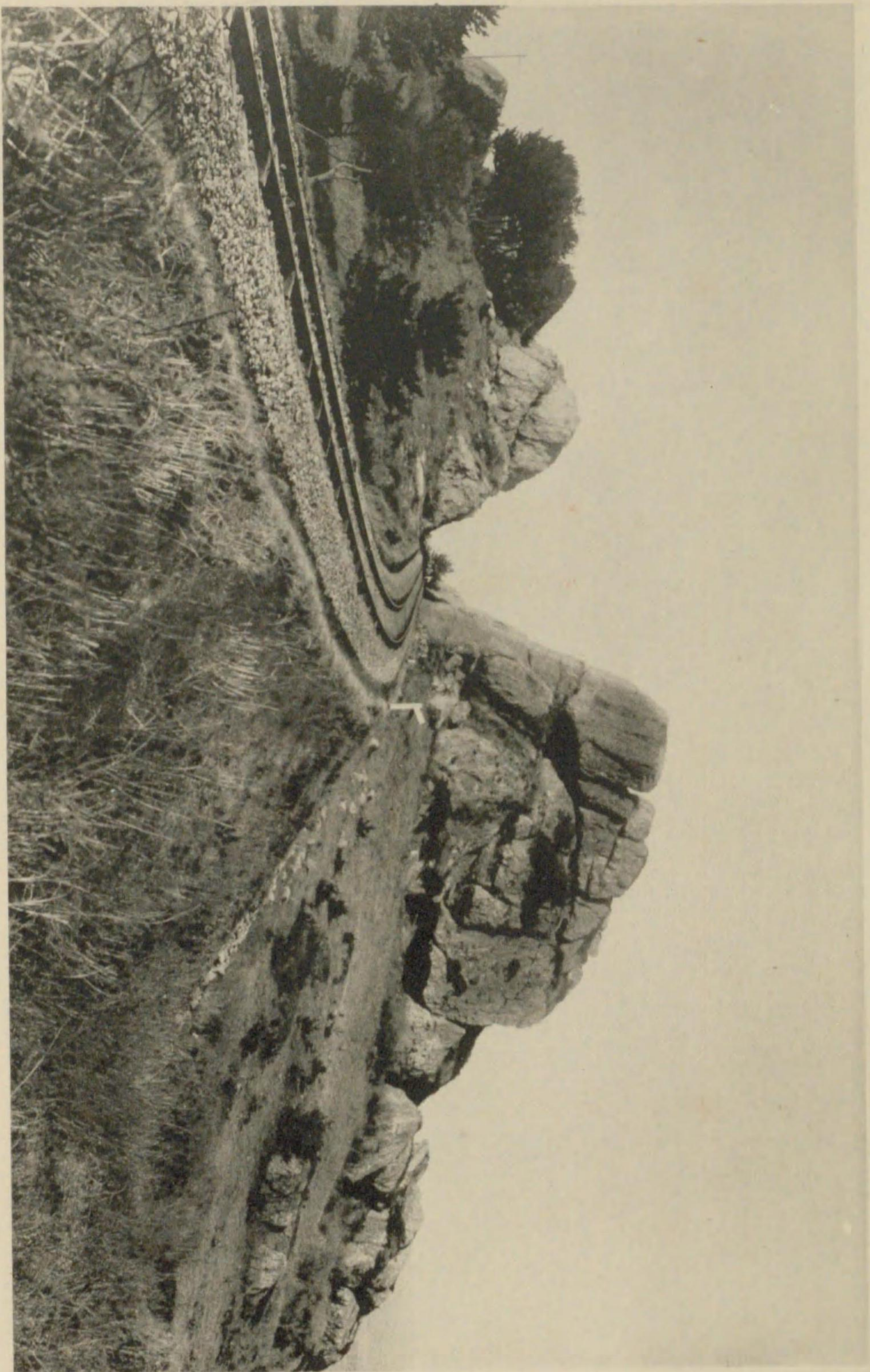
巻末「オオムシ」のせい

巻末「オオムシ」のせい

八巻二十箇州武野燗

八巻 武野燗





THE
 GEOGRAPHICAL
 MAGAZINE
 1911

八戸起點

八哩二十鎮附近切取

此附近線路は海岸に沿ふて走り一

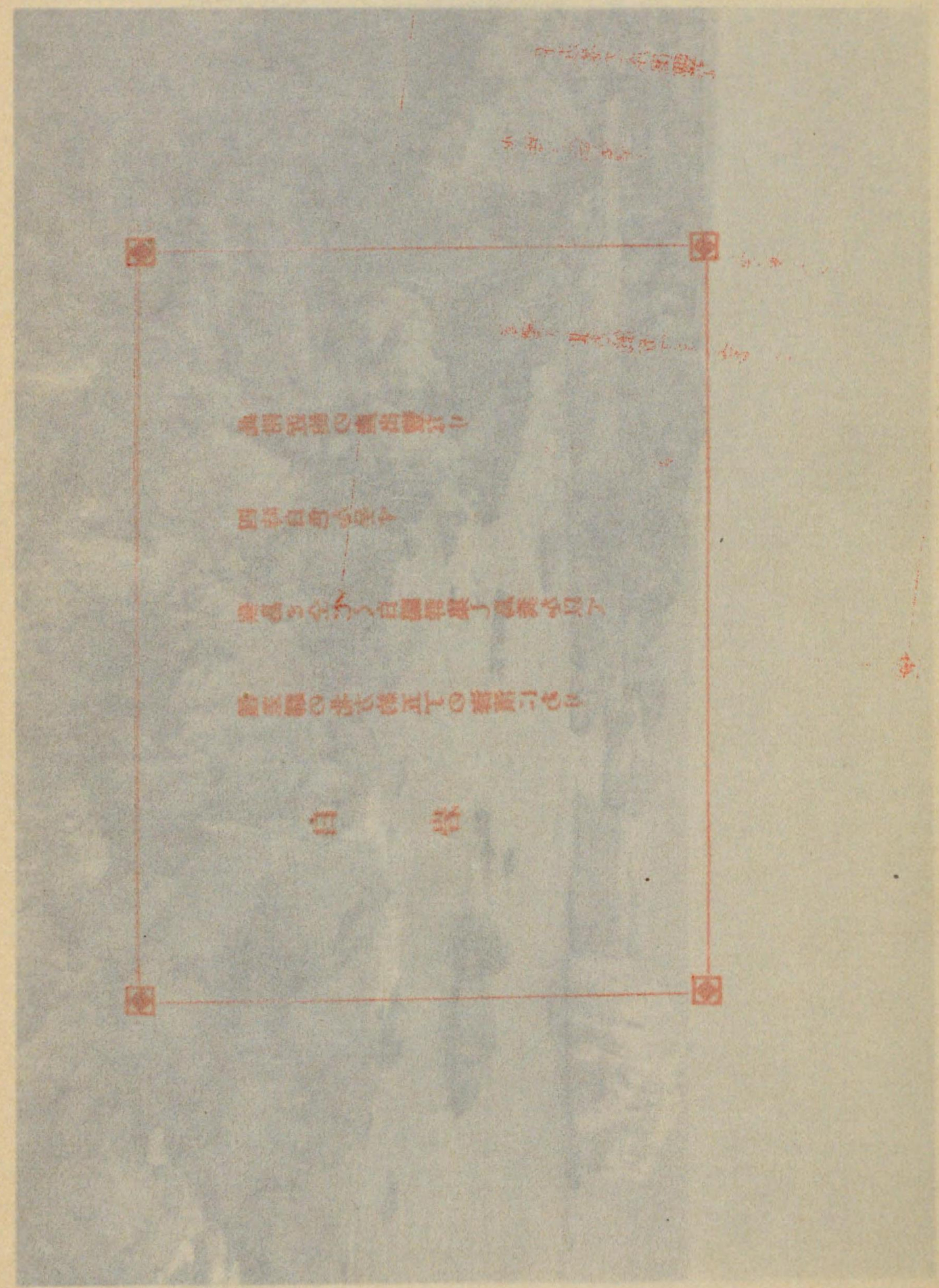
体の草丘なるも所々に花崗岩の巨

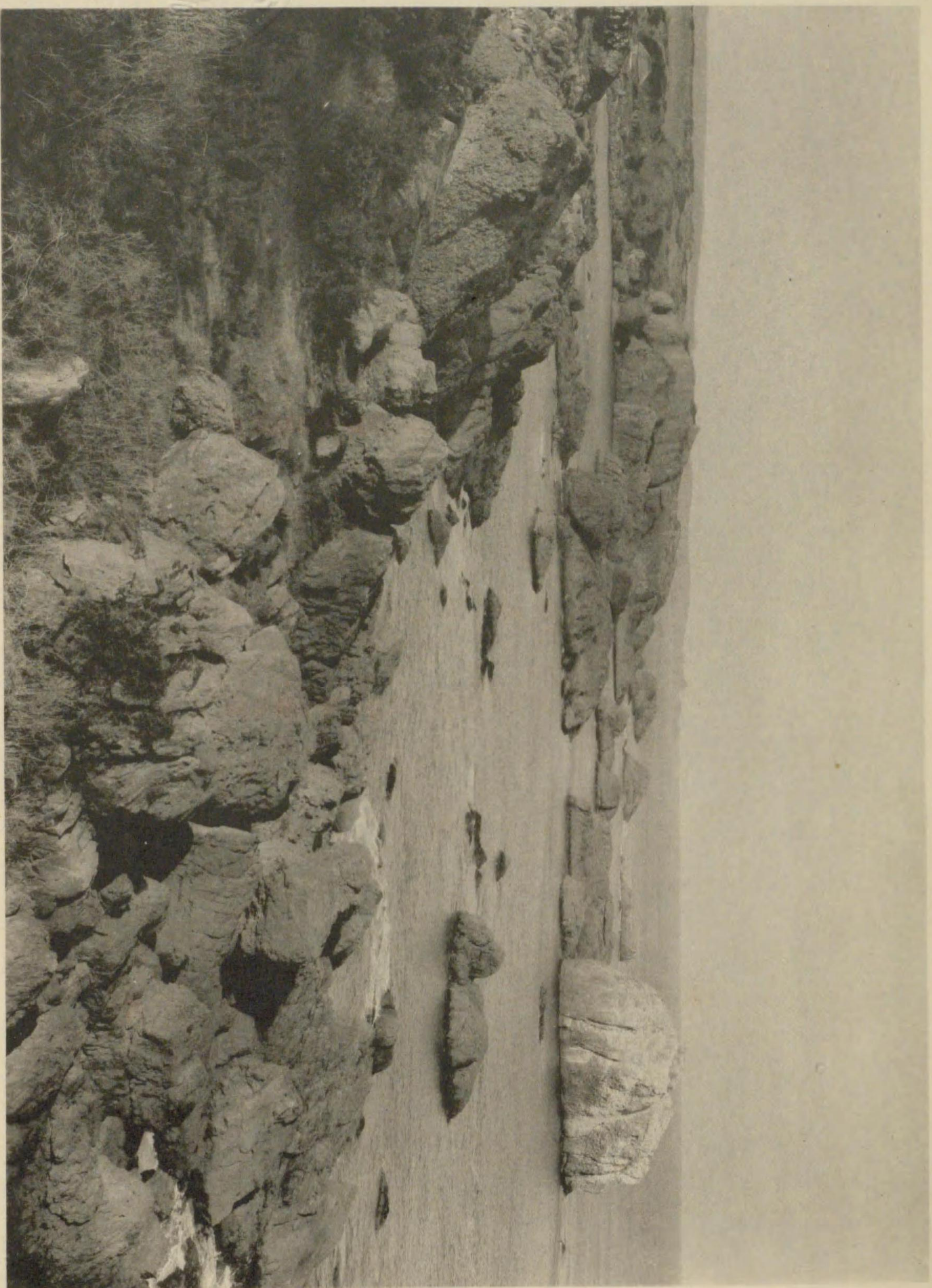
岩怪石凸出す寫眞は俗間「諸君」を

稱する岩塊にして切取の際には爆

發藥「カール」ト約三百貫目を要

したるものなり





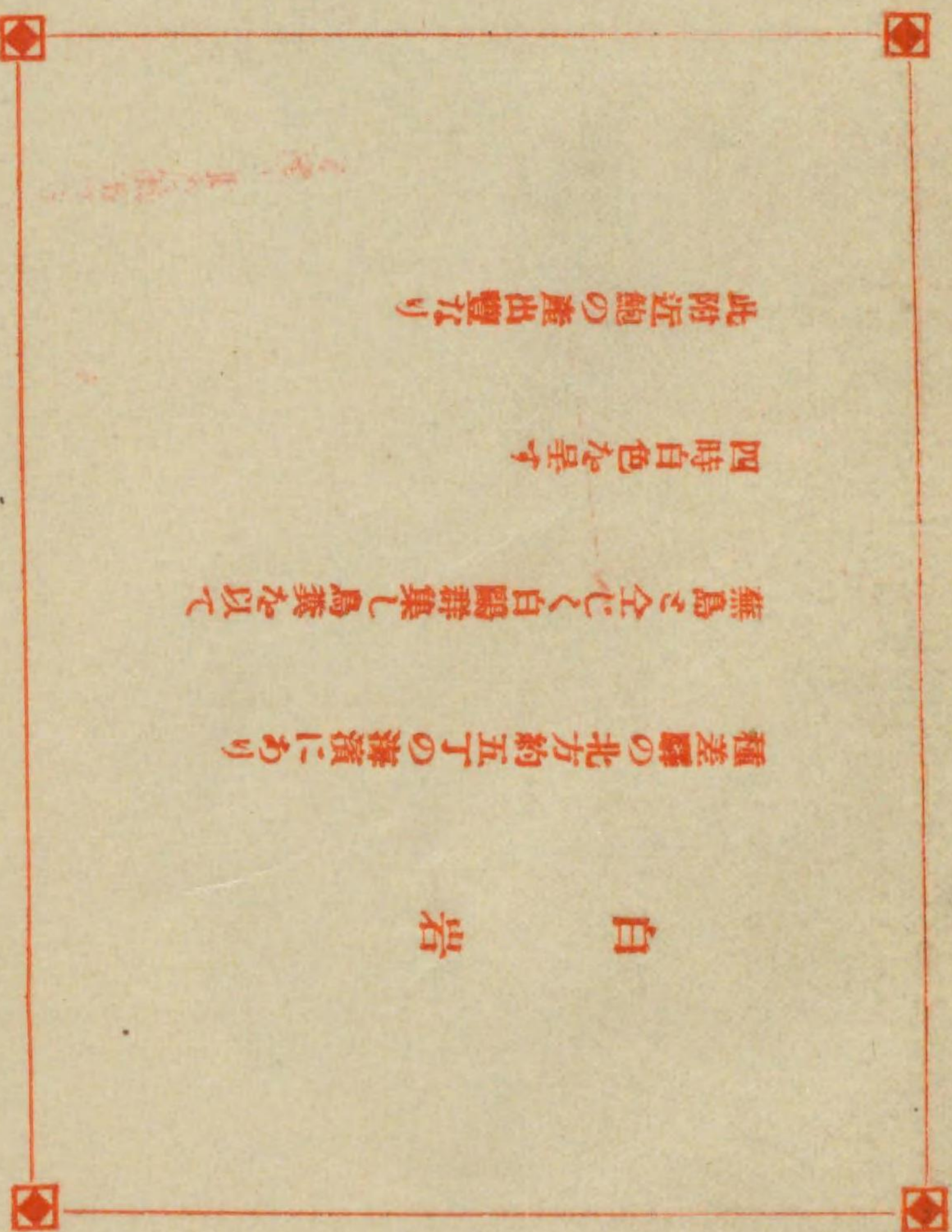
白岩

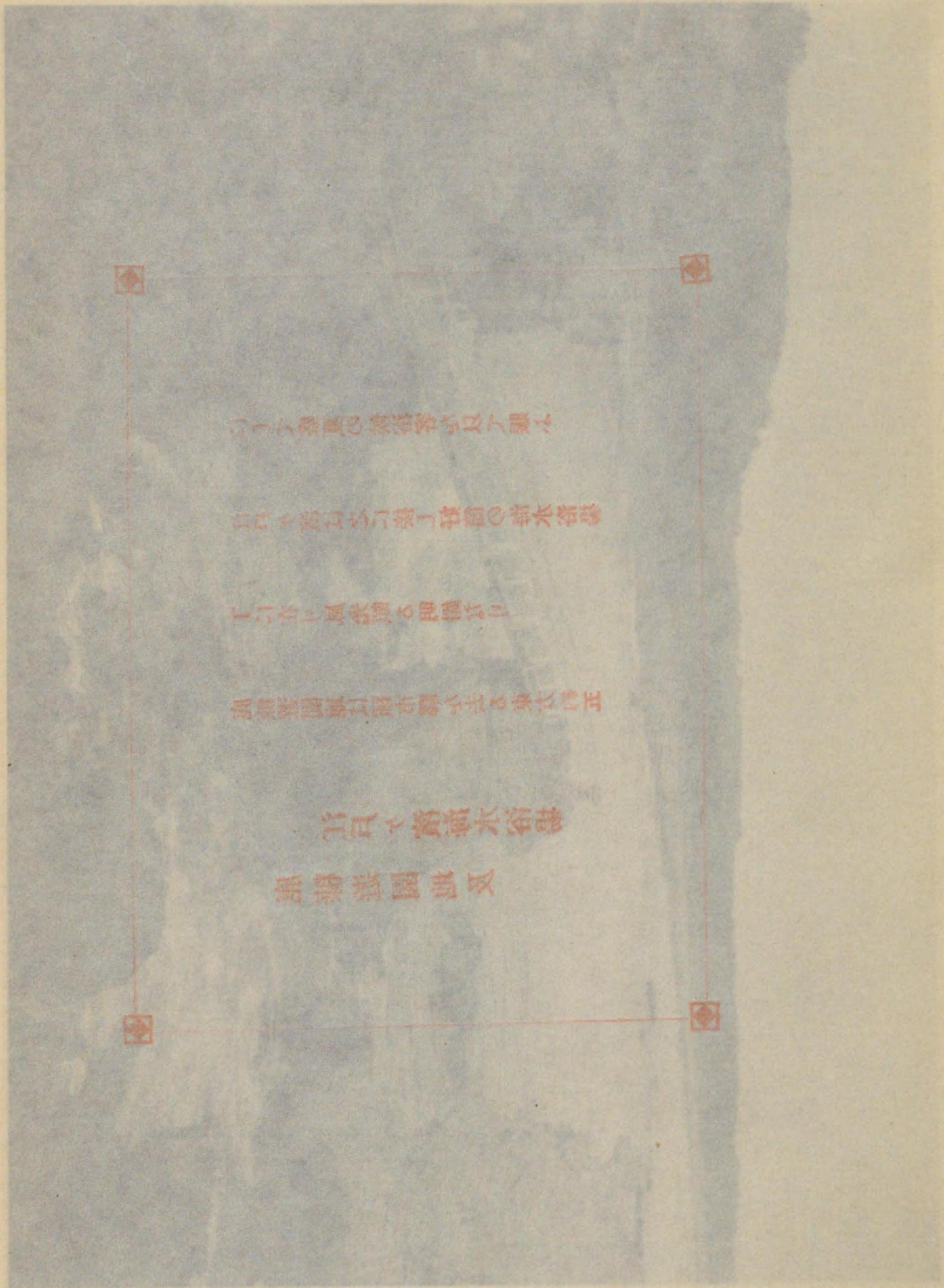
種差驛の北方約五丁の海濱にあり

無鳥之全てく白鷗群集し鳥糞を以て

四時白色を呈す

此附近鮑の産出豊なり





つうき雲の裾裾香の以う観え

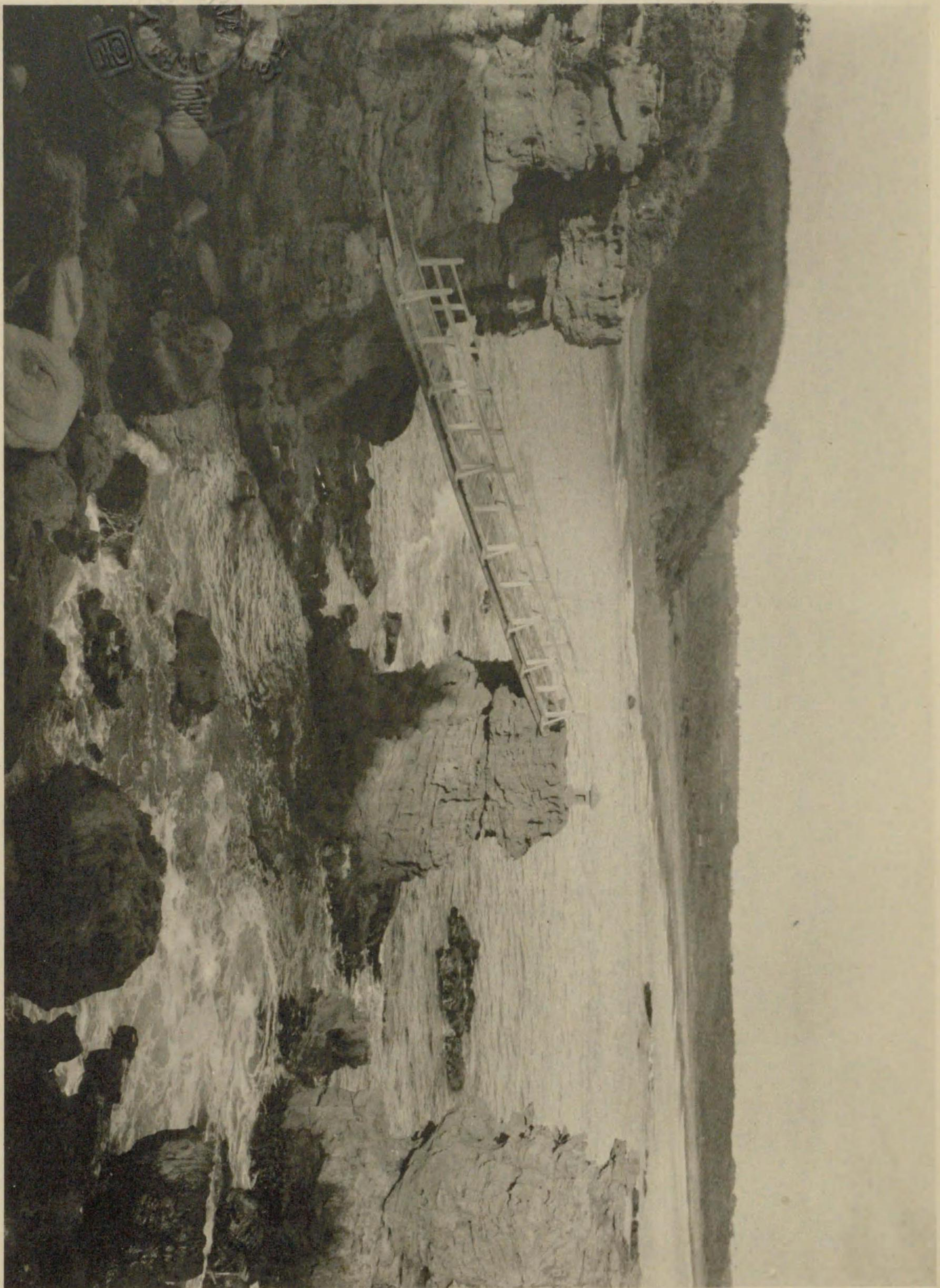
山内々雲のこまじり雲の始水宿集

ていふに風吹ゆる即離なり

風吹雲開ぬは雨すまるとまると正

山内々宿集
風吹雲開ぬは





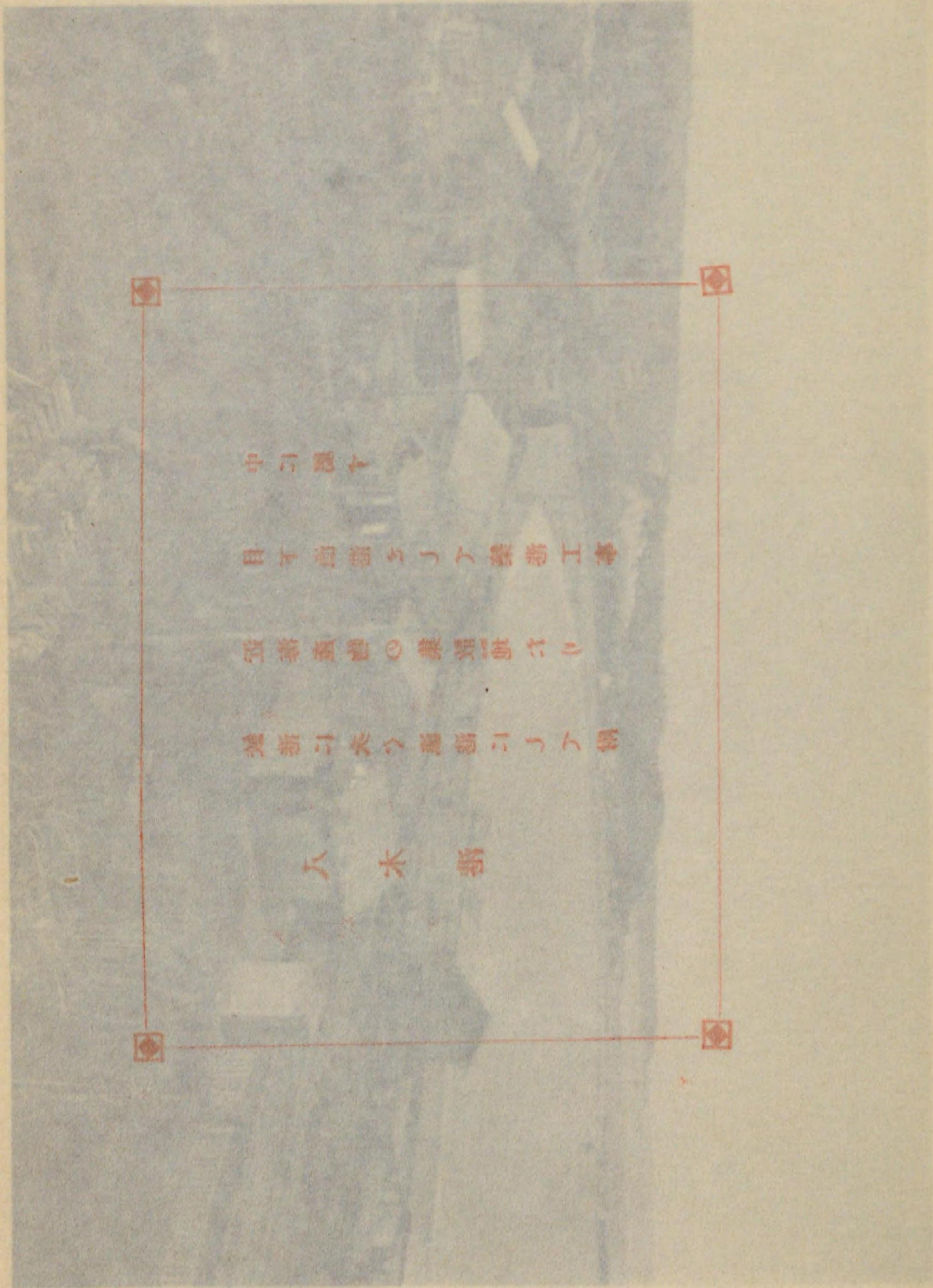
鹿糠遊園地及
江戸ヶ濱海水浴場

鹿糠遊園地は種市驛を去る東方約五

丁に在り風光頗る明媚なり

江戸ヶ濱は之に接し好箇の海水浴場

にして盛夏の候浴客を以て賑ふ



中ノ様子

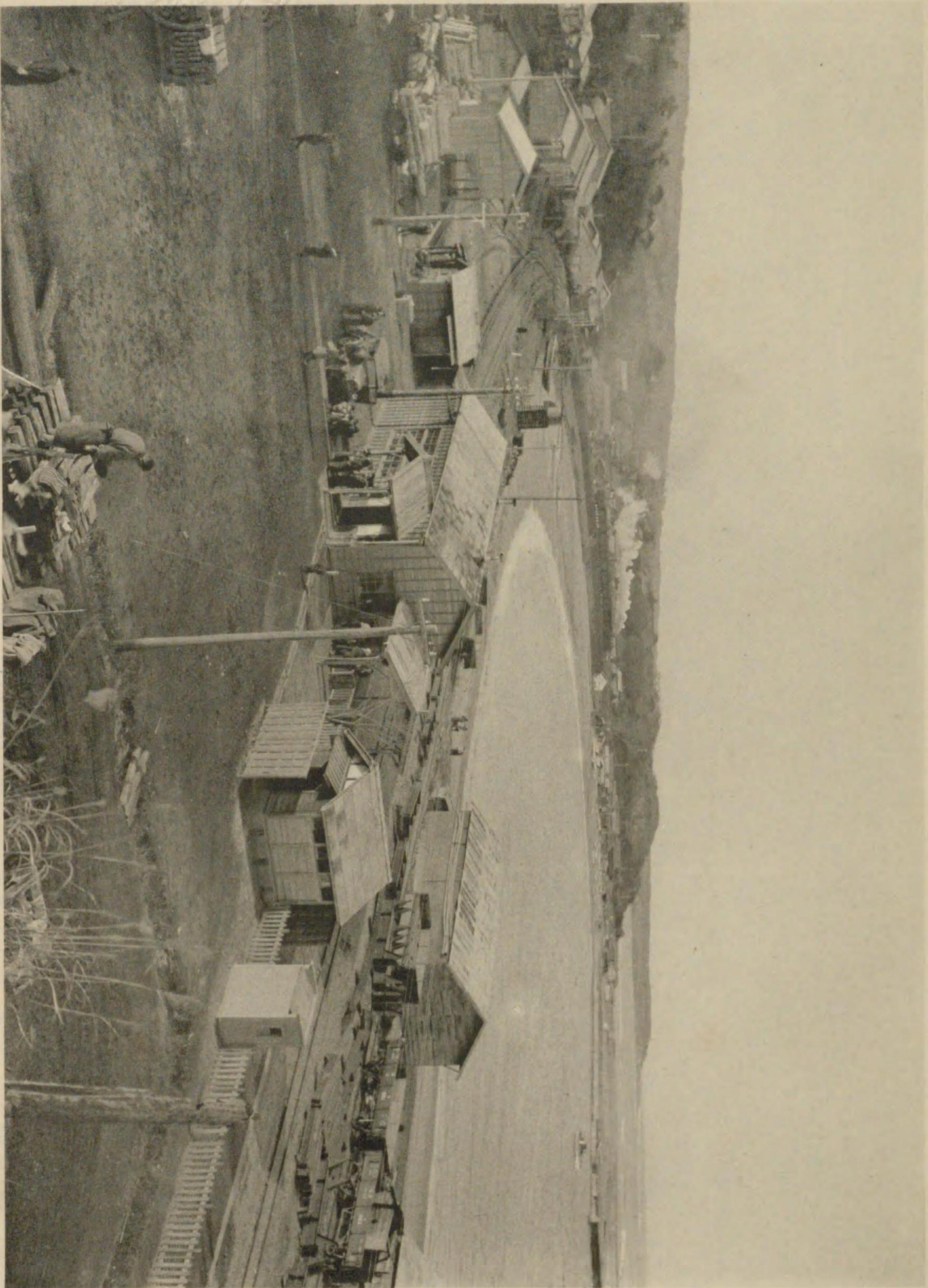
目ノ出様とシテ築部工本

取寄五箇ノ集積ニ似たり

建新ニ先ツ建新コトノ例

八 木 部





八木港

鮫港に次ぐ漁港にして附

近海産物の集散地たり

目下漁港として築港工事

中に属す

引續出題録二丁の巻頭及び巻末

し書簡書寫なる太平新巻附け奉申す

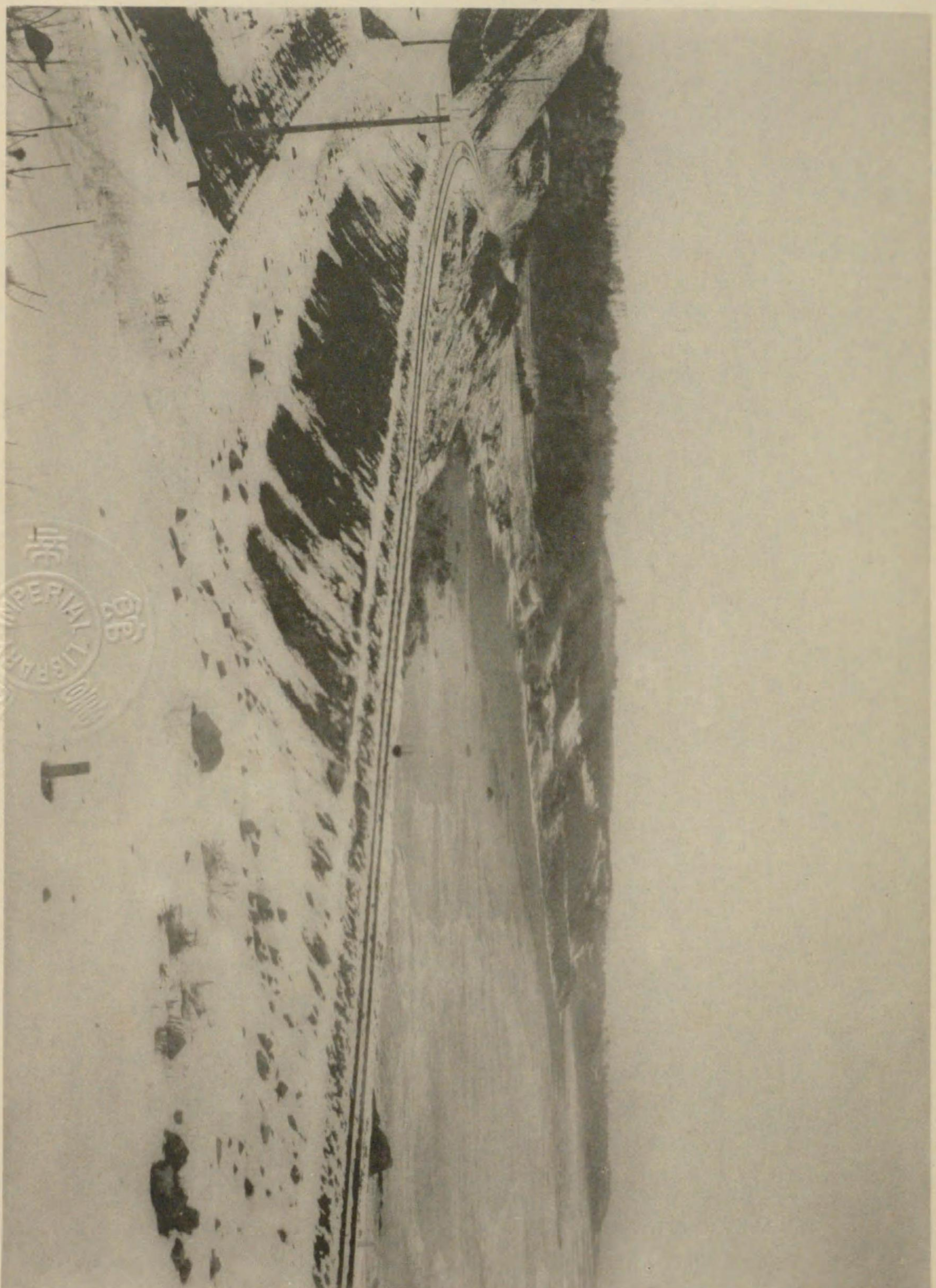
古時五世新巻二巻の巻頭し申上

より八本巻に盡すもの二丁の巻頭

八月改題二十五冊四十五巻前後撰録

向 野 新 集





向渡海岸

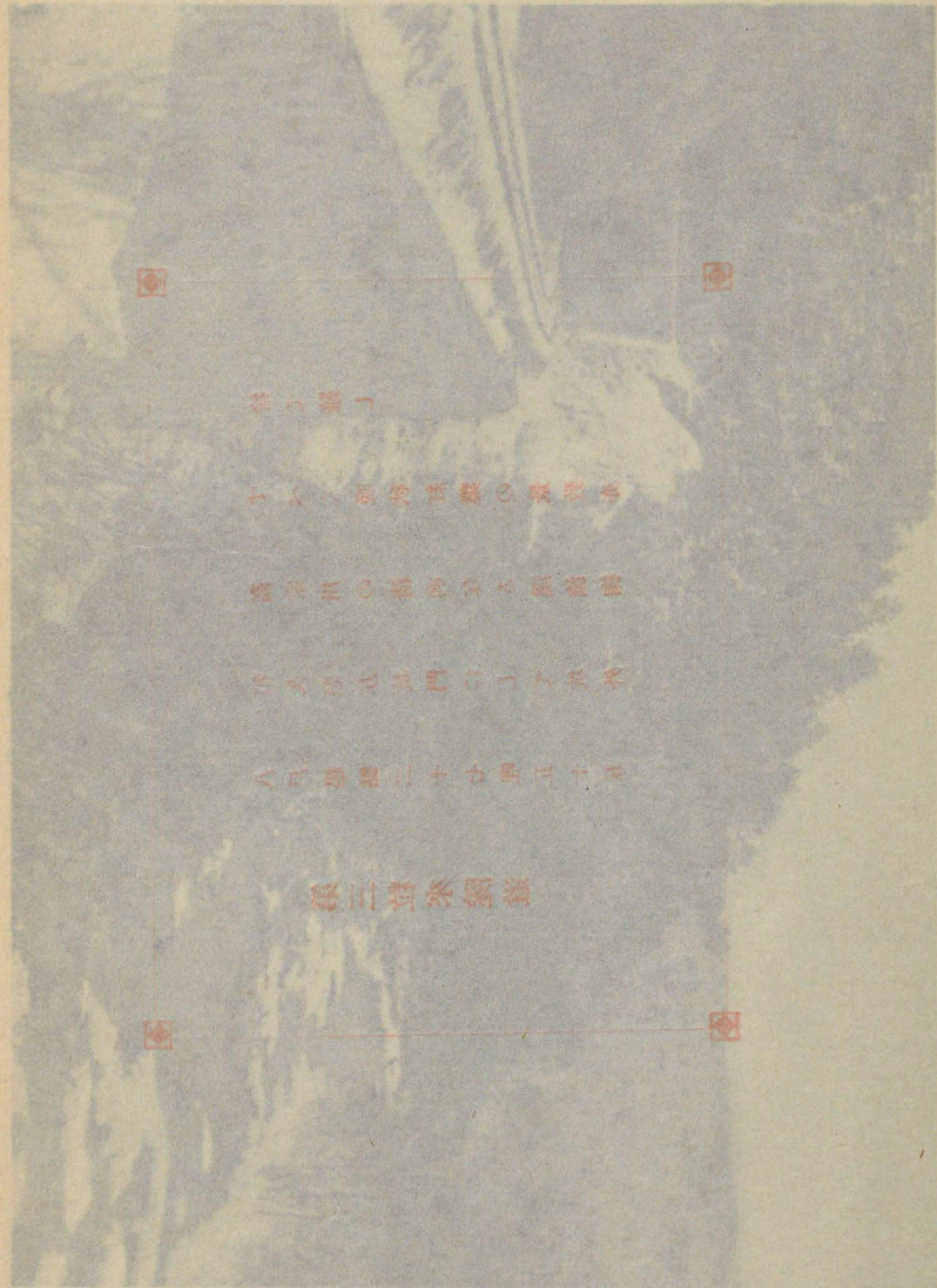
八月起點二十五哩四十五鎮向渡附近

より八木岬を望むものにして線路は

右轉左折海濱に沿ひて蜿蜒し車窓よ

り雲烟渺茫たる太平洋を眺む冬則も

比較的溫暖にして積雪尺を越へず



富士山

日本一の山 富士山の最高峰

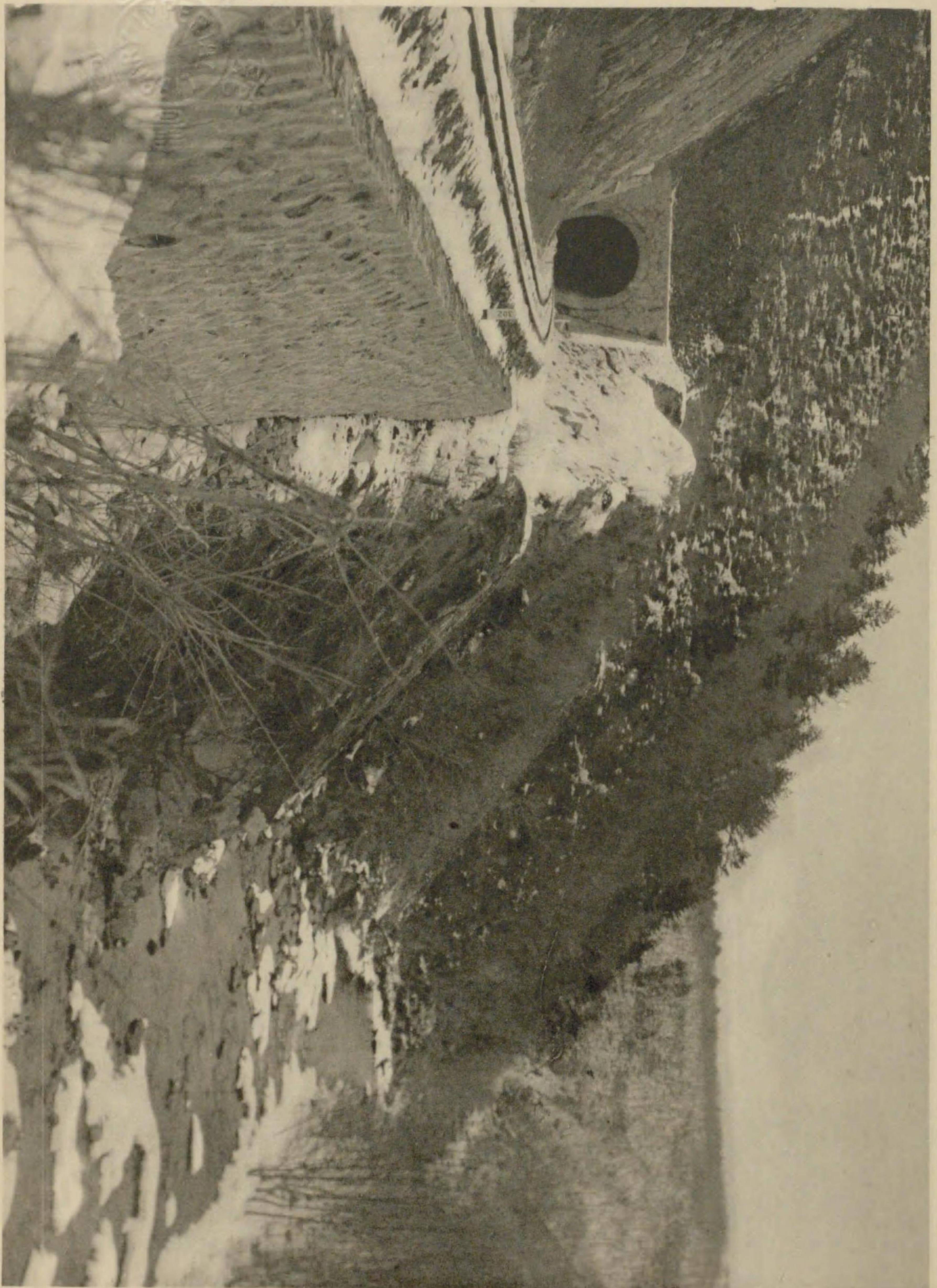
富士山の裾野は 約 200 キロメートル

富士山の山頂は 約 3776 メートル

富士山の山頂は 約 3776 メートル

富士山





第三粒來隧道

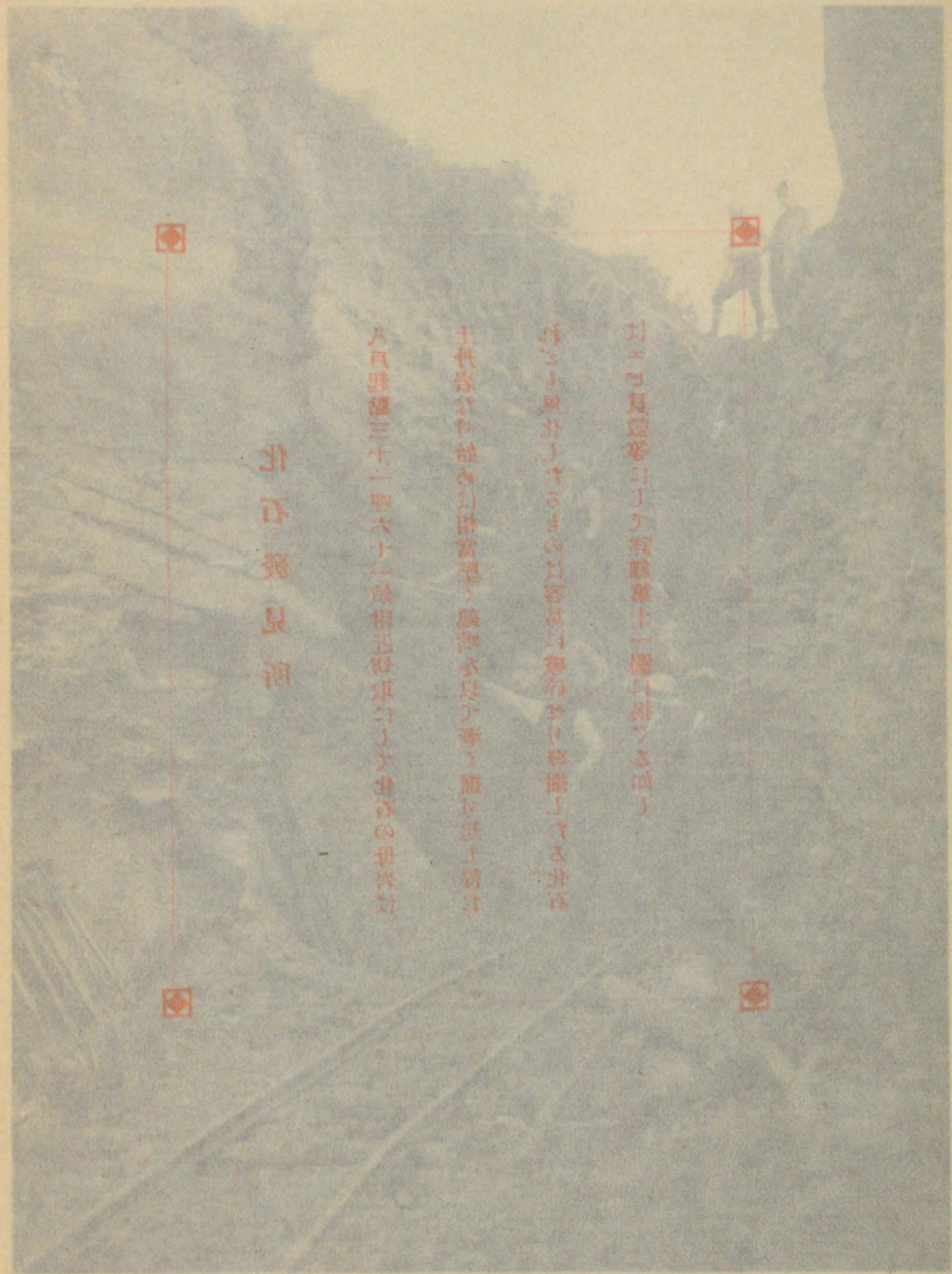
八戸起點二十七哩五十五

鎖久慈方坑門にして坑外

高家川の清冽なる溪流擁

すべく晩秋紅葉の景致亦

捨て難し



カエコ良登等コトノ有職第十一圖の測るる山

此ノ山脈ノ下ニある山ノ山容其ノ形ヲ見ルニ似テ居ル

ト判ルル也故ニカエコ良登等ノ山脈ニ及ブ事ノ能ハシク判ル

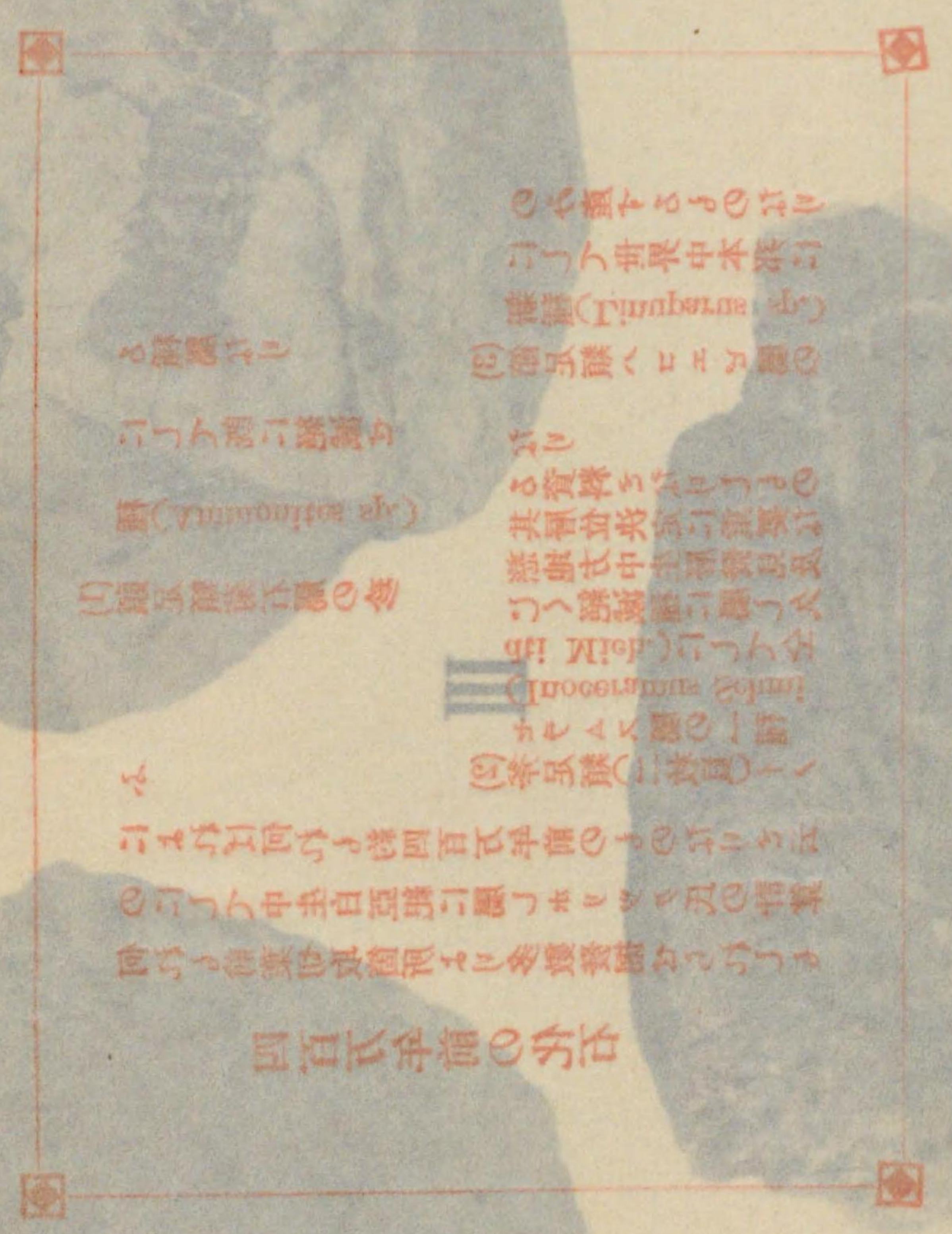
ル其山脈三十一度六十一分餘程五度半コトノ山容の形其

山容の形



化石発見所

八戸起點三十二哩六十一鎮附近切取にして化石の母岩は
土丹岩なり始めは相當堅く鶴嘴を以て漸く掘り起し得た
れども風化したるものは容易に破碎せり發掘したる化石
はエビ貝殻等にして詳細第十一圖に掲ぐる如し



の名義するものなり
 二つの中本原に
 註(Parabola)也
 ① 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ② 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ③ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ④ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑤ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑥ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑦ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑧ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑨ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑩ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑪ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑫ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑬ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑭ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑮ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑯ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑰ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑱ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑲ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ⑳ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉑ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉒ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉓ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉔ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉕ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉖ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉗ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉘ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉙ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉚ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉛ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉜ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉝ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉞ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㉟ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊱ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊲ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊳ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊴ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊵ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊶ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊷ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊸ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊹ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊺ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊻ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊼ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊽ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊾ 二つの中本原の
 註(Parabola)也
 ㊿ 二つの中本原の
 註(Parabola)也

四百五十年の分石

I

II

四百万年前の化石

何れも前葉切取箇所より多数發掘せられしものにして中生白亜紀に屬しハツク氏の計算によれば何れも約四百万年前のものなりと云ふ

(2) 斧足類(二枚目イノセラマス屬の一種

Proceramus *Göbeli* (Miob.)にして全く絶滅種に屬し久慈地方中生層發見及其層位決定に重要な資料となりしものなり

種 (*Ammonites* sp.)

にして既に絶滅せる種屬なり

(3) 節足類ハコエビ屬の新種 (*Limparis* sp.)

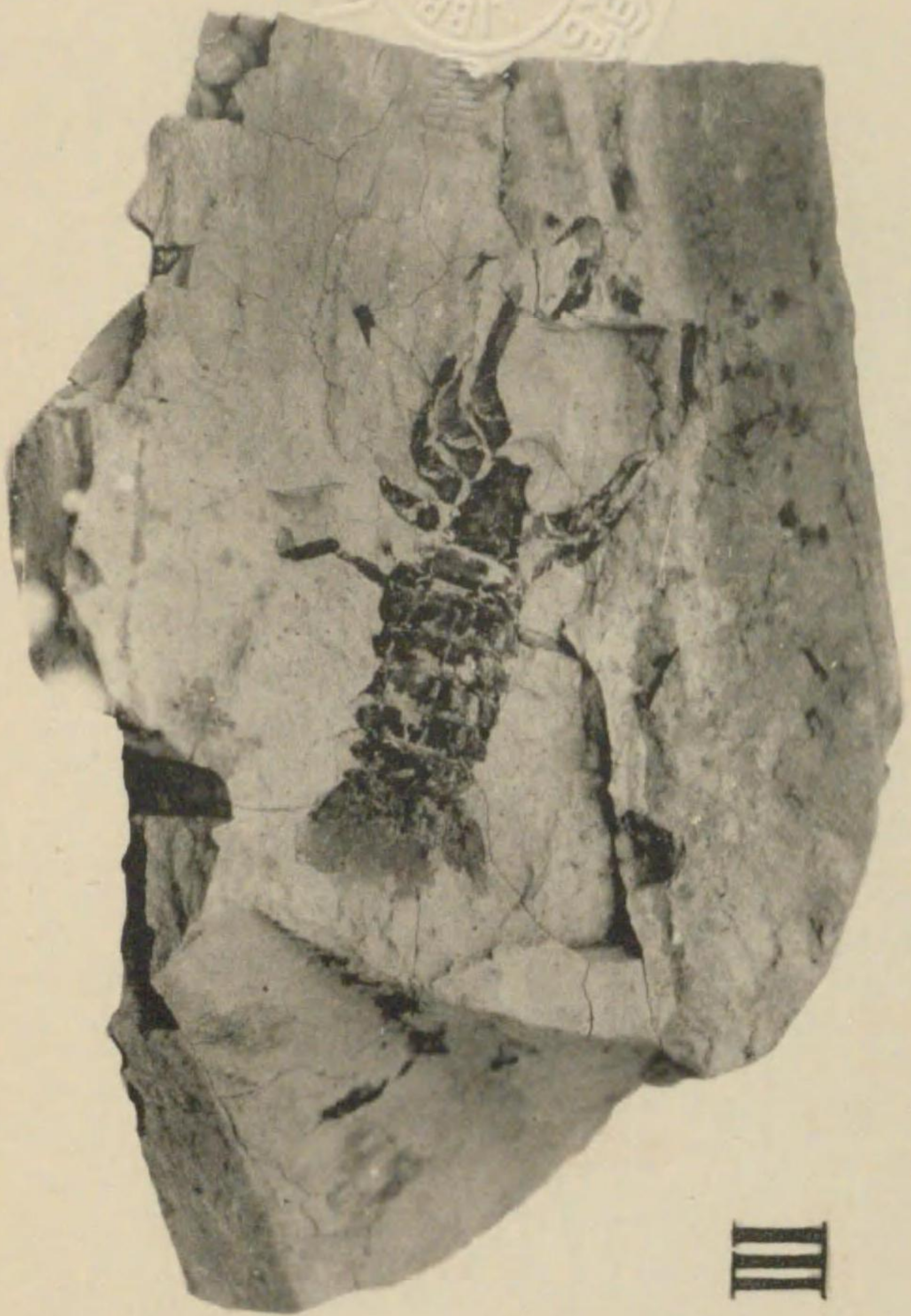
にして世界中本邦にのみ産するものなり



I

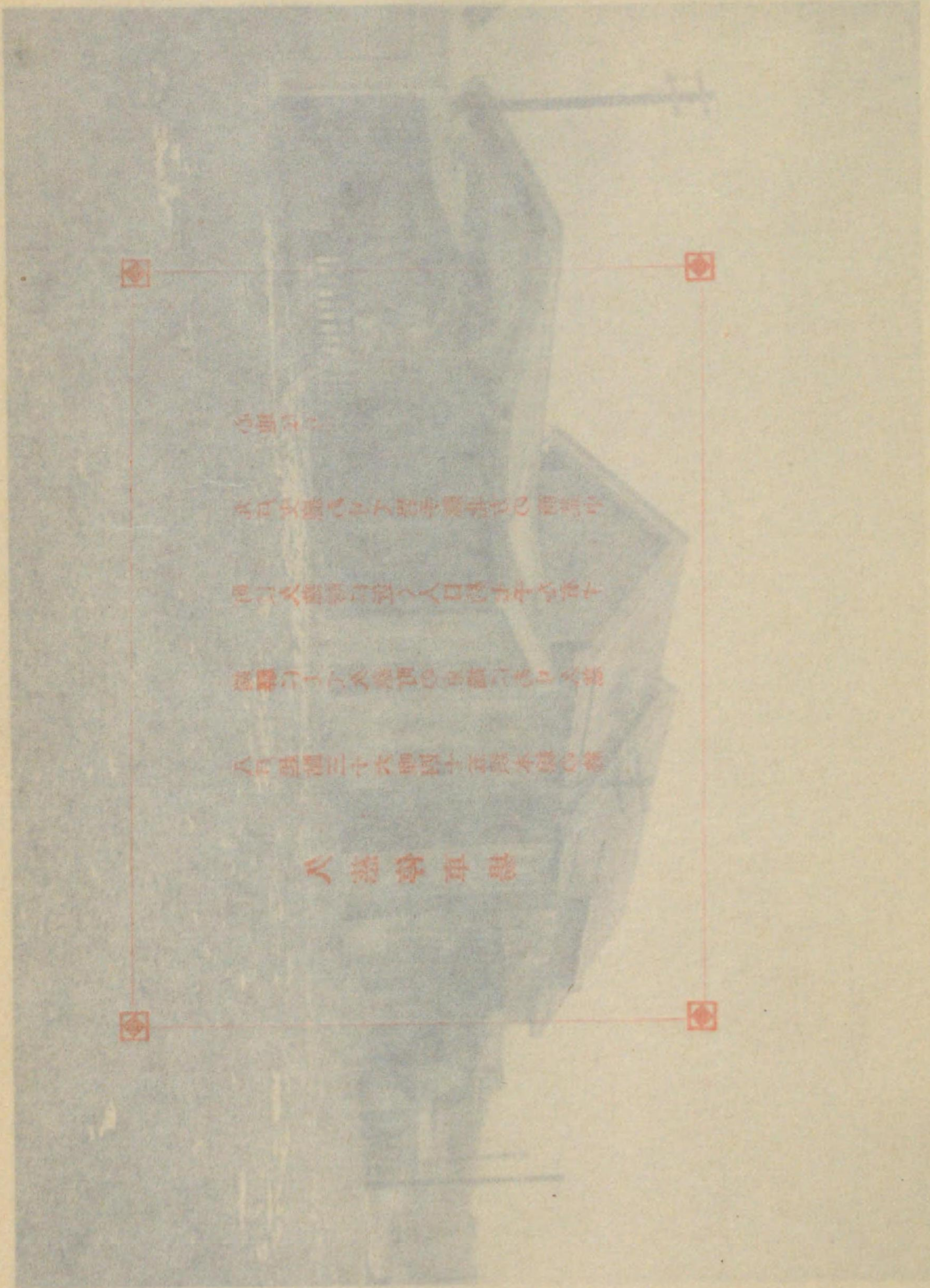


II



III





心願

大日本鐵道株式會社

大日本鐵道株式會社

大日本鐵道株式會社

大日本鐵道株式會社

大日本鐵道株式會社





HOOPER & CO.
PHOTOGRAPHERS
SAN FRANCISCO, CALIF.

久慈停車場

八月起點三十六哩四十五鎖本線の終

端驛にして久慈町の東端にあり久慈

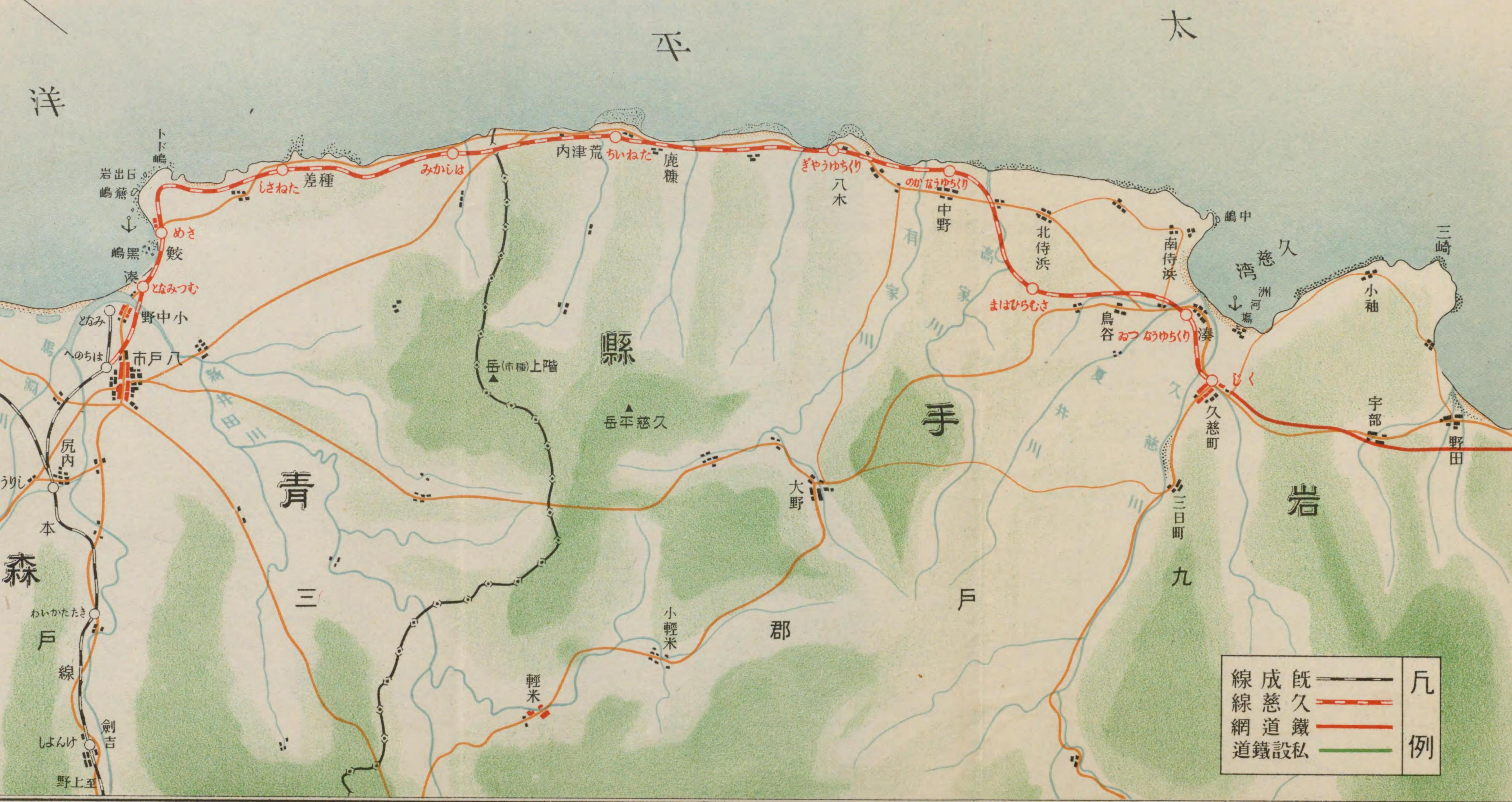
町は久慈灣に近く人口約七千を有す

九戸支廳わけて岩手縣北方の商業中

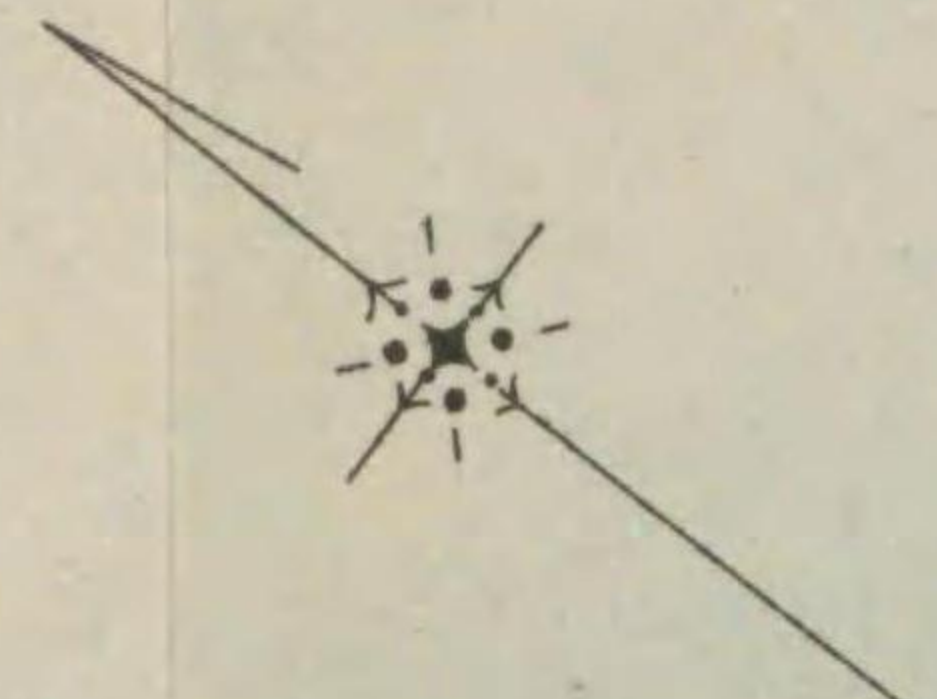
心地なり

久慈線路線平路面圖

縮尺二十萬分一

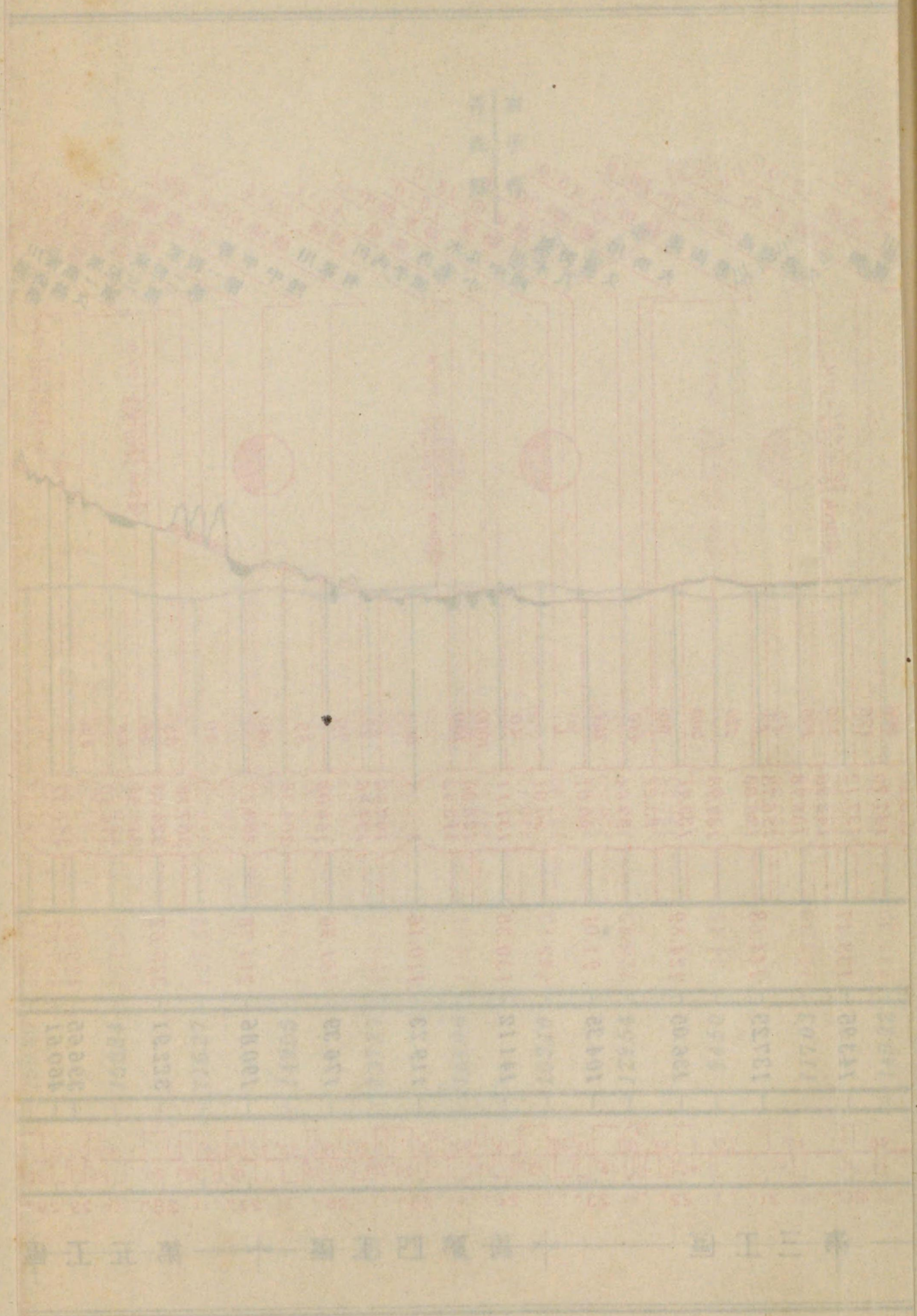


線成既	——	凡
線慈久	——	
網道鐵	——	例
道鐵設私	——	

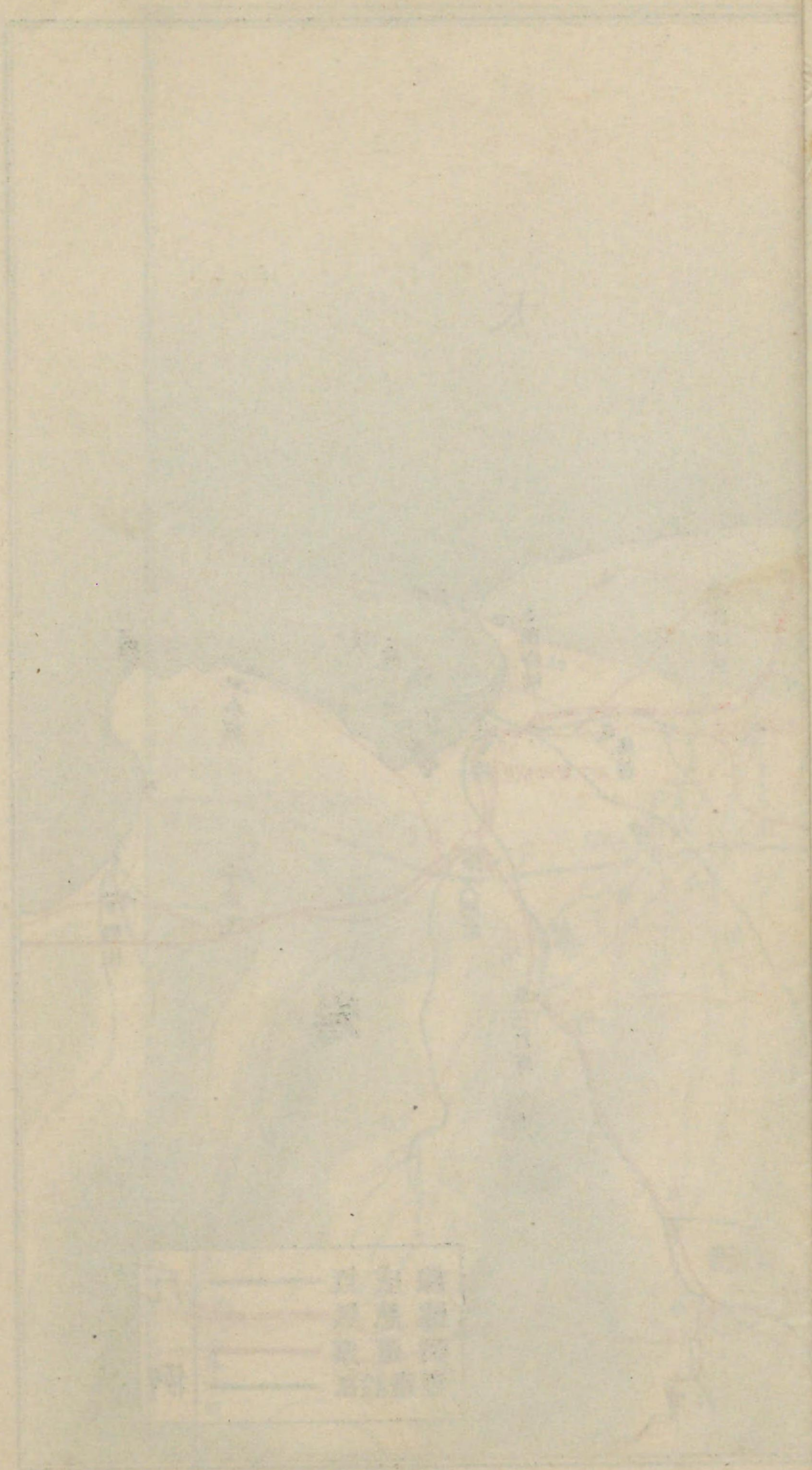


久慈線路線平路面圖
縮尺十二万分之一





第三十圖 第一號測量圖

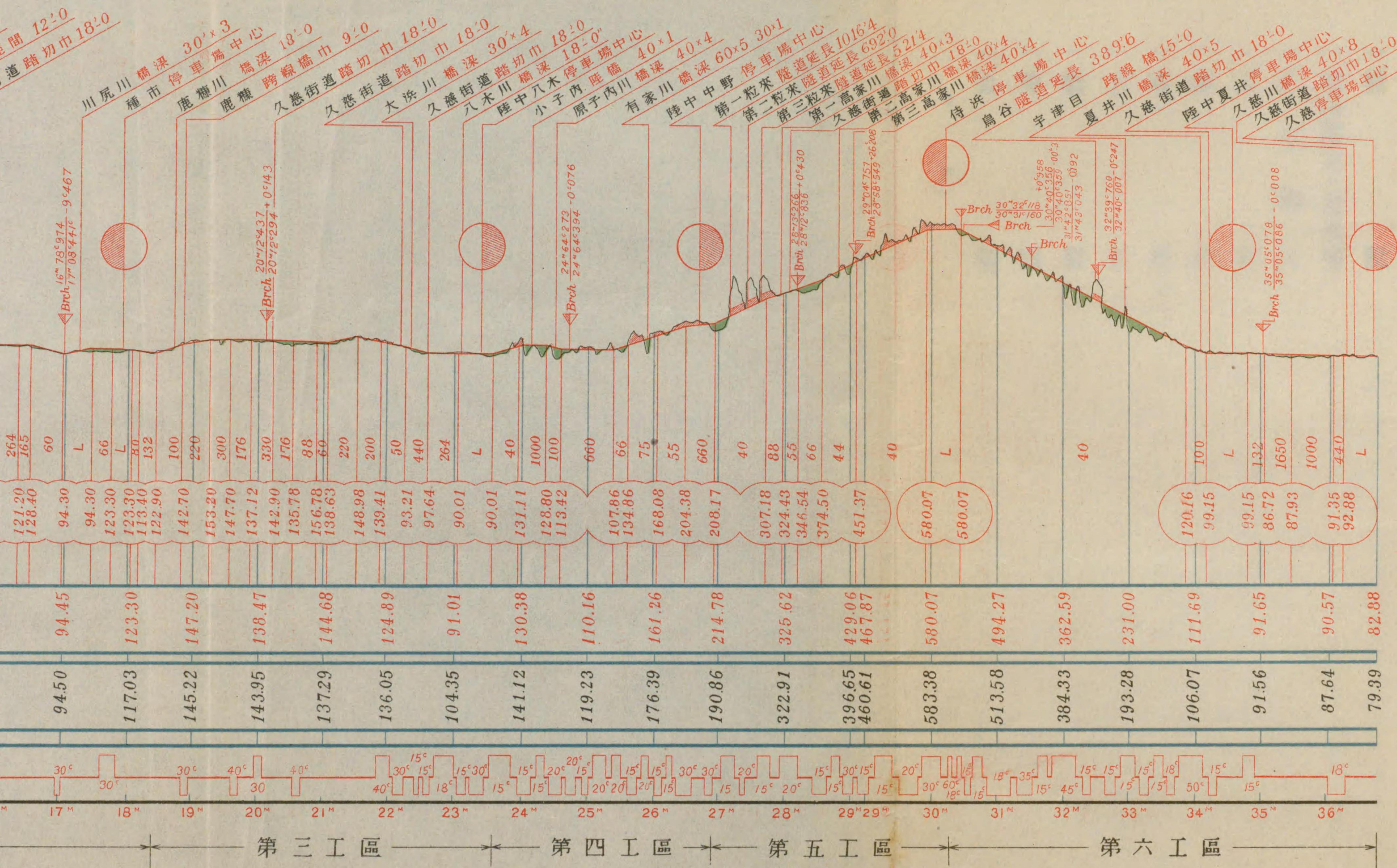


第三十圖 第一號測量圖

久慈線線路縱斷面圖

縮尺

縱 一吋五百呎
橫 一吋一哩





岩手縣
青森縣

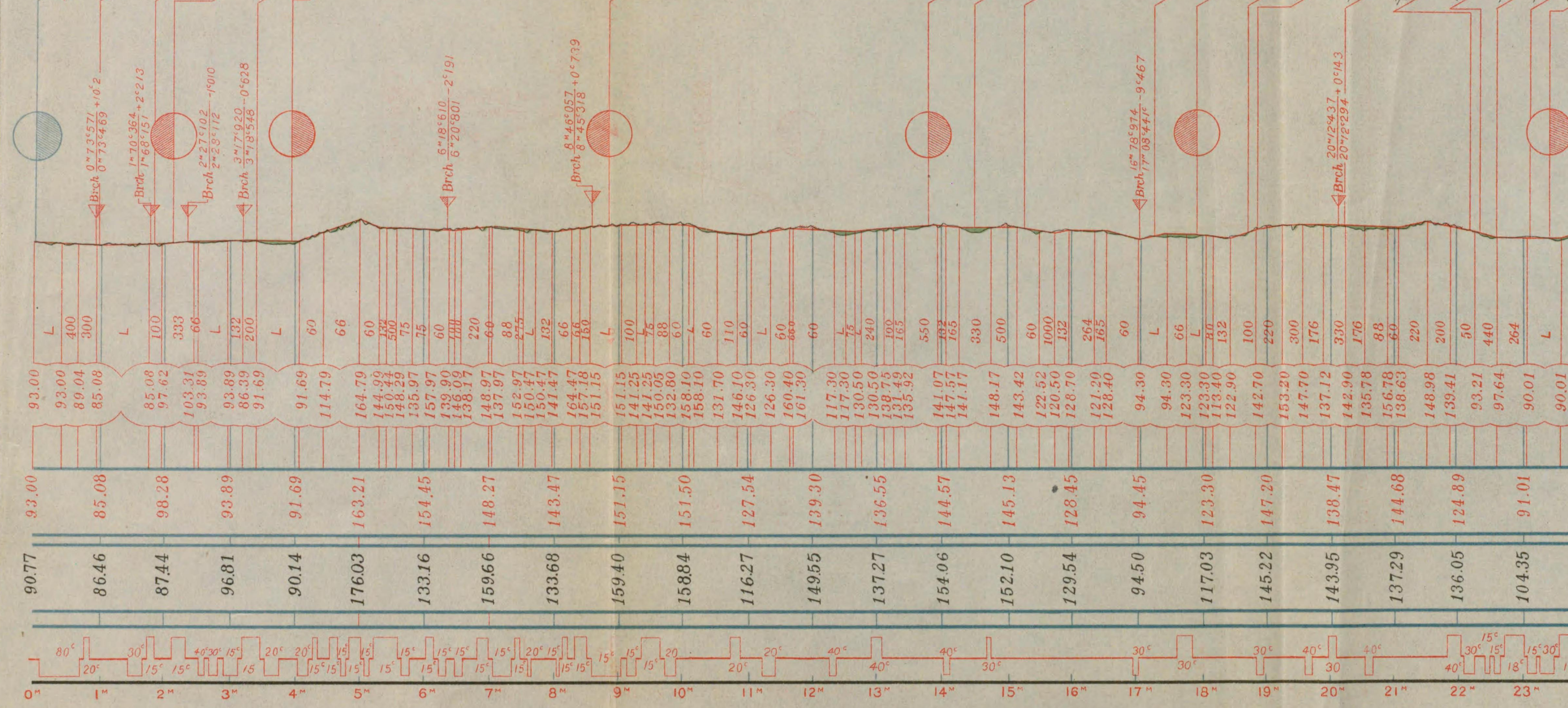
八戸停車場中心
久慈線起點
敷街道踏切

新田川橋梁
陸奥湊停車場中心
敷街道踏切

種差停車場中心

踏上市停車場中心
小松渡川拱橋徑間
久慈街道踏切

川尻川橋梁
種市停車場中心
鹿糠川橋梁
久慈街道踏切
大湊川橋梁
久慈街道踏切
八木川陸



第一工區

第二工區

第三工區

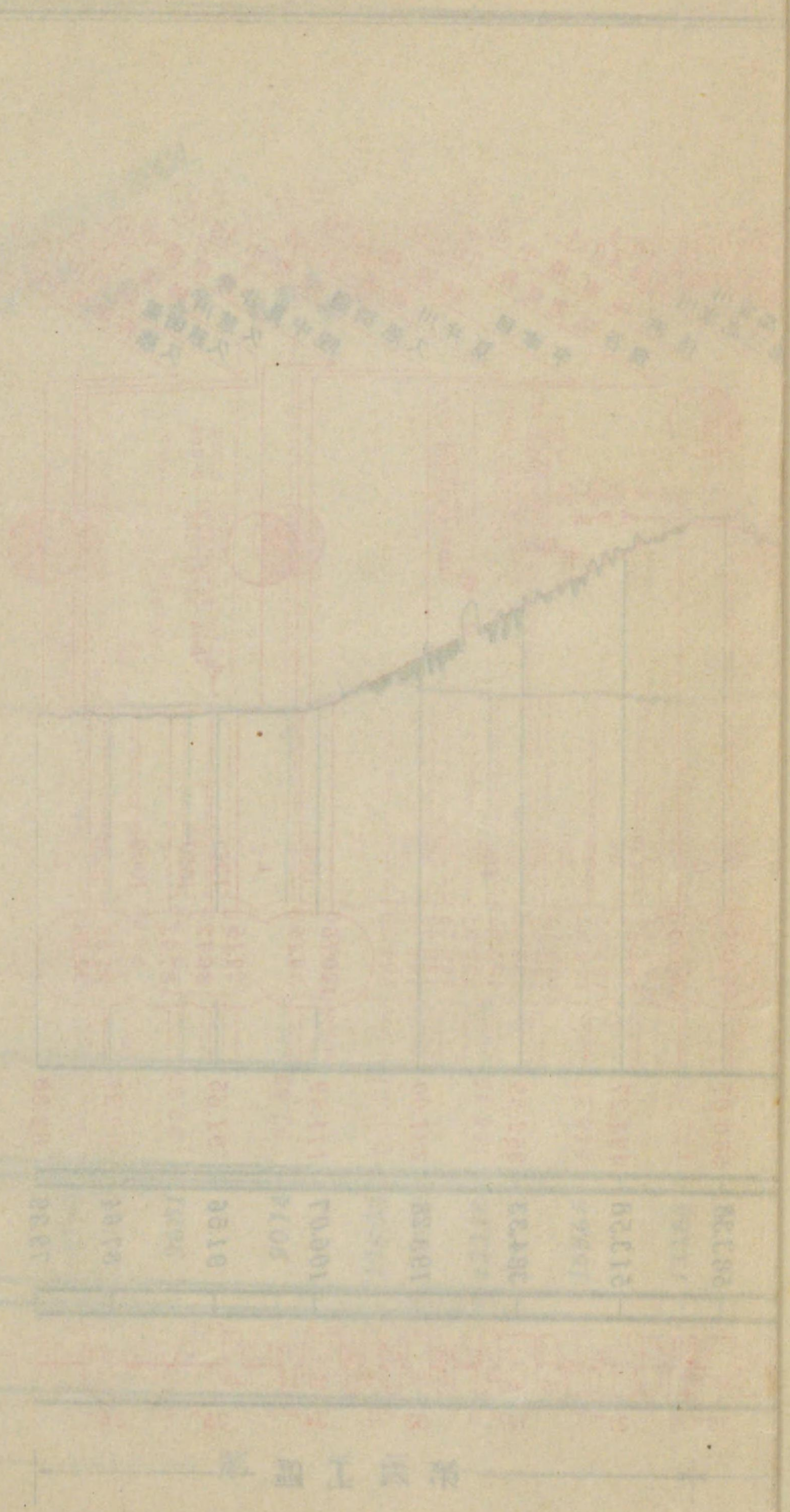
久慈線建設概要

目次

一、總	說	一
一、線路選定と其狀勢	二	
一、工事概況	五	
一、工費	一四	
一、測量	一四	
一、用地	一七	
一、土工	一九	
一、橋梁	二〇	
一、溝橋	二一	
一、伏樋	二三	

久慈縣各郡面圖

前
後
西
五
百
里



一、隧 道 二二

一、軌道及架桁 二四

一、停 車 場 二五

一、諸 建 物 二六

一、通信及信號設備 二七

一、主要材料及運送 二八

一、建 築 用 汽 車 二八

一、職 工 人 夫 賃 金 三〇

一、詰 所 三一

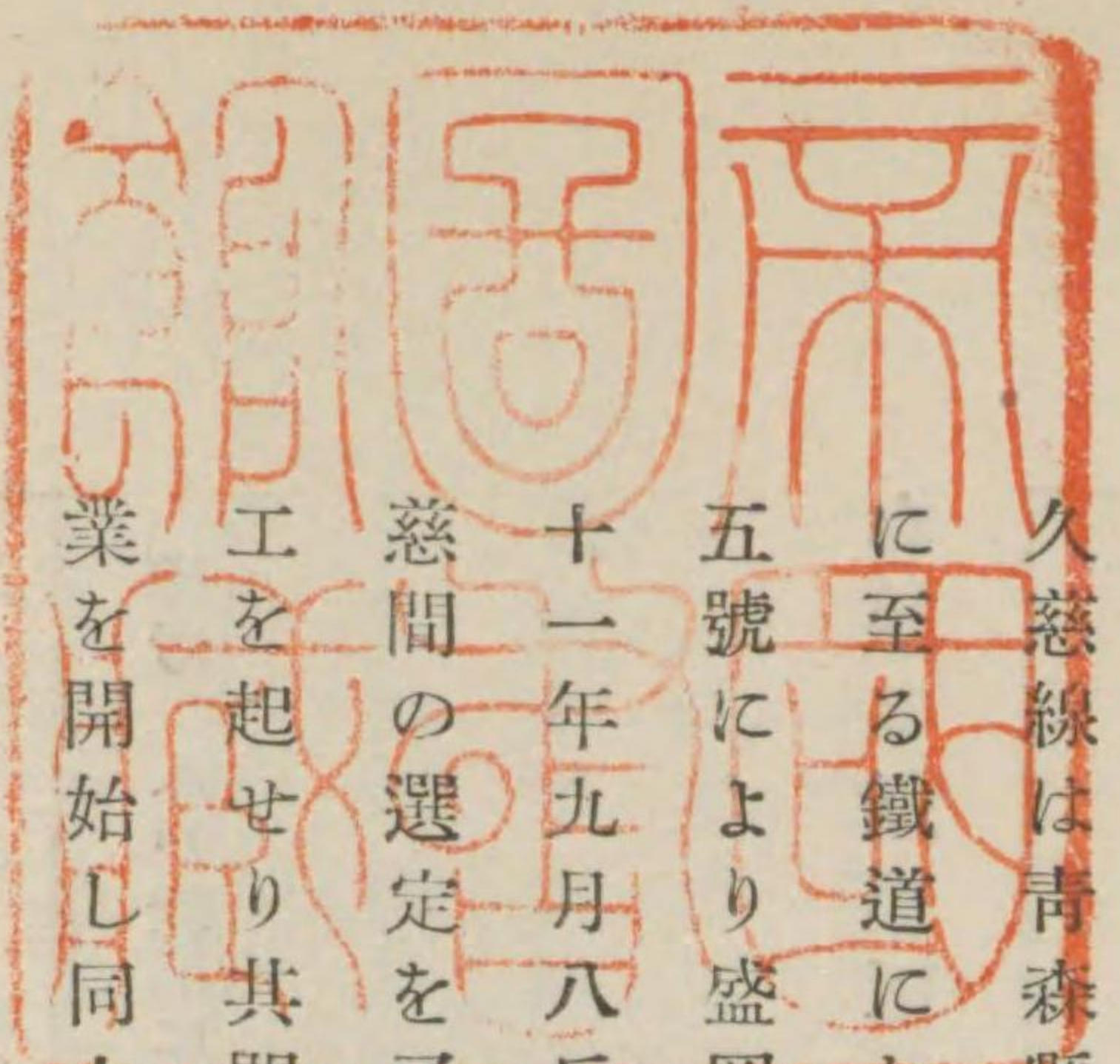
一、從 事 職 員 三一

一、職員公務死傷 三七

目次終

久慈線建設概要

總 說



久慈線は青森縣八戸市大字柏崎八戸停車場より分岐し、陸中八木を経て岩手縣九戸郡久慈町に至る鐵道にして大正七年第四十一帝國議會の協贊を經、同九年三月十二日鐵道院告示第二十五號により盛岡建設事務所々管に編入せらる而して本線は大正九年四月實測に着手し、次て同十一年九月八戸種差間同年十月種差荒津内間同十二年八月荒津内八木間同十五年七月八木久慈間の選定を了せり、土工其他工事は之を六工區に分割し、大正十一年十一月第一工區より順次工を起せり、其間幾多の事故と戦ひつゝ、其工を進め、大正十三年十一月十日先づ八戸種市間の營業を開始し、同十四年十一月一日種市陸中八木間を開業し、更に今回陸中八木久慈間を開業し、茲に着手以來年を閲すること滿十箇年、建設費五百九萬三千八百圓を投じ、全線の開通を見るに至れり、本線は所謂三陸海岸線の一部にして、沿線は農産物、海産物に富み、牧畜亦盛なるが故に、地方開發上多大の効果を齎すのみならず、將來進んで海岸線の全通する曉に於ては、運輸交通上頗る有意義なるものたらむ

本線に於ける部分開業を爲したる區間毎の距離期日等を擧ぐれば次の如し

區 間	開業停車場		距 離	開業年月日
	名 稱	數		
八戸種差市	鮫階上種差市	四	十八哩三十二鎖七十五節	大正十三年十一月十日
種市、陸中八木	陸中八木	一	五哩十五鎖十四節	同十四年十一月一日
陸中八木、久慈	陸中夏井、久慈濱	四	十三哩三十六鎖十七節	昭和五年三月二十七日

備考 八戸鮫間に請願停車場を設置し大正十五年七月十一日營業開始セリ

線路選定と其狀勢

一、線路選定

本線の選定區間延長及豫算額左の如し

選 定 區 間	延長哩程		豫算金額	一哩當り金額	最小曲線半徑	最急勾配	選定認可年月日
	哩	鎖 節					
八戸種差間	八	一六	一、一五、八五〇〇〇	一四、〇八〇〇〇	一五鎖	六分ノ一	大正十一年九月十四日
種差—荒津内間	九	二八	三〇〇、二五九〇〇〇	九、五、三三〇〇〇	一五	六分ノ一	同年十月二十七日
荒津内—陸中八木間	五	一四、三	五、七〇、〇〇一〇〇〇	一〇、九、一、二、〇〇〇	一五	五分ノ一	同十二年八月二十五日

陸中八木—久慈間	計		二、線路の狀勢
	哩	鎖 節	
計	一三	三五	(イ)八戸種差間
	一四	一七、六	
	九七、五	三、二五三、七六〇〇〇	
		五、八七五、八三三〇〇〇	
		二、四、〇、三、〇〇〇	
		一、六、一、三、四、〇〇〇	
		一五	
		四〇分ノ一	
		同十五年七月二十二日	

二、線路の狀勢

(イ)八戸種差間

本區間の線路は青森縣八戸市大字柏崎八戸停車場(八戸線尻内起點三哩三十鎖三節)起點零哩六十八鎖に於て八戸線より右方に分岐し鮫街道を横斷し小中野市街の南方を掠め新井田川に徑間四十呎、飯桁十一連十五呎、輾壓工形桁一連を架し湊町に入り丘頸を切斷して海濱に出て臺麓に沿ひて進み白銀市街の背後を経て東北に轉じ更に鮫街道を横斷して鮫町に至り海岸に近く鮫停車場(八戸起點三哩七十三鎖)を設けて海陸連絡に便ならしめ是より線路は漸上し灣口の岬角を迂回し字白濱の部落を掠め左轉右折深久保部落を過ぎ種差海岸に至り茲に種差停車場(八戸起點八哩六十四鎖)を設け八戸起點九哩五鎖に達す

(ロ)種差荒津内間

本區間の線路は青森縣八戸市鮫町地内八戸起點九哩五鎖に起り東南に向ひて種差部落を過ぎ海岸の突岬を繞り法師濱大久喜金濱の諸部落を経て階上村に入り更に大蛇追越の部落を掠め紳に至り茲に階上停車場(八戸起點十三哩五十五鎖)を設け泊川拱橋徑間十五呎を渡りて小舟渡

部落の背後に出て岩手縣九戸郡種市村に入り丘台平野の間を直進して澁谷に至り久慈街道並に澁谷川(徑間十五呎輾壓工形桁)を横斷し大谷地平内の部落を過ぎ里道を踏切りて川尻川に徑間三十呎鉸桁三連を架し小橋部落を経て右折南方に轉し荒津内の高台に至り茲に種市停車場(八戸起點十七哩七十一鎖)を設け八戸起點十八哩三十五鎖に達す

(八) 荒津内 陸中八木間

本區間の線路は岩手縣九戸郡種市村地内八戸起點十八哩三十五鎖に起り南方に向て鹿糠部落の西を過ぎ左折して和座川(拱橋徑間二十呎)を渡り進んで猪石の部落に入り右曲久慈街道を横斷し玉川部落の東に出て玉川に徑間十二呎を架し左曲戸類家を経て戸類家川(拱橋徑間十二呎)を渡り馬場屋敷宿戸の耕地を直進して吹切に入り右轉左折再び久慈街道を横ぎり大濱の海岸に出て大濱川(徑間三十呎鉸桁四連)を渡り左曲三度久慈街道を横斷し右轉山脚を繞り八木濱に至り左折して八木川(輾壓工形桁徑間十五呎)を渡り茲に陸中八木停車場(八戸起點二十三哩三十二鎖)を設置し右曲南方に向ひ種市中野村界八戸起點二十三哩五十鎖に達す

(二) 陸中八木久慈間

本區間の線路は岩手縣九戸郡種市村八木(八戸起點二十三哩五十鎖零節)に起り直ちに同郡中野村に入り縣道を横斷し小子内部落の西端を過ぎ小子内川に拱橋徑間十二呎を設け原子内川に橋梁徑間四十呎三連を架し海岸に沿ひて進み二十五哩七十二鎖に至り有家川(徑間三十呎一連

六十呎五連延長三百五十六呎)を渡り陸中中野停車場(二十六哩五十三鎖簡易)を設置し右折して第一粒來隧道(延長千十六呎四)第二粒來隧道(延長六百九十一呎)及第三粒來隧道(延長五百二十一呎四)を穿ち高家川に沿ひ左折して同川(徑間四十呎三連)を横斷して九戸郡待濱村地内に入り高家部落にて縣道を横切り右轉左折再び高家川を渡り待濱村長崎部落を掠め同村堀切に待濱停車場(三十哩八鎖)を設く是れより線路は九戸街道に沿ひ重疊たる丘陵の中腹を下りて夏井村字宇津目に至り九戸街道を横斷し閉伊口にて平地に出て同所に夏井川橋梁(徑間四十呎五連)を架し右折左轉して夏井村大港に陸中夏井停車場(三十四哩四十七鎖簡易)を設置し久慈町港に入り丘陵の下を右轉して久慈川に平行し田甫の中を西南に進み左折して久慈川(橋梁徑間四十呎下路橋八連)を渡り九戸街道を横斷して久慈町字新町裏に久慈停車場(三十六哩四十五鎖)を設け本線の終端三十六哩五十八鎖六十節長内川左岸に達す

工事概況

本線土工其他工事は施行上の便宜を計り之を六工區に分割し孰れも請負に附し軌道敷設及橋桁架設並に通信設備其他開業上必須なる工事は土工工事の竣成と相俟て直營又は請負となし隨時施行せり茲に特記すへきは第一工區に屬する八戸鮫兩驛間に在る八戸起點二哩十鎖十五節陸奥湊停車場なりとす同停車場は大正十三年十月磐城セメント株式會社の請願に依り同十

四年十月承認設置したるものにして停車場用地は全部同社の寄附に係り又用地買収事務一切を當省に委託施行せり此の寄附負擔額は金六萬一千五百圓にして其他建造物に要したる金四萬八千八百七十九圓は當省の負擔とす
 尙本停車場設置に伴ひ前記會社より請願側線延長六十五鎖敷設方の出願に對し大正十年七月達第五九六號の承認書案に基き同十五年六月之を承認施行せり以下各工區に於ける工事の概況を記述すれば

第一工區 八戸 種差 着手 大正十一年十一月二十日
 竣功 同 十三年二月十三日

本工區は八戸起點〇哩六十八鎖〇節に起り延長八哩十六鎖二十二節五にして新井田川橋梁及其前後の築堤並に二三の切取を除く外大なる工事なしと雖も一哩五十鎖より四哩三十鎖に至る間線路は小中野湊及鮫の市街地を形成せる處を通過せるを以て隨て移轉家屋多く時恰も冬期に入り移轉に多大の日子を要し工事の進捗に少なからざる影響を及ぼせり
 新井田川橋梁は本線中最長のものにして徑間四十呎鋼桁十一連十五呎輾壓工形桁一連より成り總延長五百三呎十呎にして根堀には素堀箱枠下等各箇所に應し適切なる工法を施せしも第二第三橋脚に於て下部に硬質の粘土層に遭遇し掘鑿には専ら潜水夫をして施行せしも沈下一日一寸内外に過ぎざることあり且掘鑿したる粘土は泥狀に化し其汲み取りに困難を感じ簡

單なる「サンドポンプ」を考案し之れにより好成績を得たり又當橋梁は海岸に近きを以て干満潮の影響を受け其差約三呎に及べり時に水位は縮切を越ゆることありしを以て干潮時を利用し縮切工を容易ならしむるを得たり

六哩十二鎖同哩七十二鎖及八哩二十三鎖附近切取は岩質堅緻にして進捗意の如くならざりしも「カーリット」を使用し大爆破を行ひしに無數の罅裂を生じ工事大に進捗し工費の節約を得たり

本工區工事中大正十二年五月十日新井田川橋梁橋臺及橋脚に龜裂を發見し爾後相次で他の橋臺橋脚にも現はれ日を追ふて増大し又石垣練積にも同様龜裂を生じ漸次波及の模様あるを以て之が原因を調査せるに大正十一年十二月日ノ出セメント株式會社より納入の「セメント」中に不良品の混入せるものを其儘請負人に交付したるに起因せり而して同會社は不良品を納入したるを非常に遺憾とし龜裂建造物の改築費は全部之を負擔し既納品は再試験の上更めて納入したき旨申出てたるを以て其願意を容れ改築工事を施行し其費額九千七百九拾貳圓九錢參厘に達せり之れが爲め同會社は其製品の改良に改良を加へ優良品を得るに至りたるは蓋し「セメント」工業界に好衝動を與へたるものと謂ふべし

第二工區 種差 荒津内 着手 大正十二年四月一日
 竣功 同 十三年六月廿五日

本工區は延長九哩二十八鎖五十三節三にして線路は海岸の丘阜平野の間を進み工事の困難と認むるものなきも起工當時は家屋の移轉に相當日子を費し且附近部落は半農半漁を以て生計を營み毎年四月は出稼者多く爲に人夫の出働少く漸く部屋人夫のみにて施工し進捗意の如くならざりしも六月に至り出稼者漸次歸郷し人夫の出働増加せしを以て此の期を逸せず工事の進捗を計り豫定期間内に竣功を見るに至れり

當工區中主なる工事は泊川拱橋外五ヶ所にして泊川拱橋及川尻川橋梁橋臺は何れも施工の結果基礎地質軟弱なりしを以て或は根入を低下し或は基礎杭打を施行せり

第三工區

荒津内 陸中八木

着手 大正十三年五月二十日
竣功 同 十四年十月廿五日

本工區は延長五哩拾五鎖拾四節參にして前區間と同様海岸丘阜起伏の間を經過し切取の最深約二十呎適々轉石或は岩石に遭遇せることあるも概して工事は平易なるものとす

陸奥湊停車場

着手 大正十五年一月十五日
竣功 同 年六月十日

磐城セメント株式會社の請願に依り設置したる本停車場工事の主なるものは切取貳千四百余立坪築堤約貳百餘立坪にして切取は大部分土砂なるも此の區間は大正十三年十一月十日の開業に係り營業列車運轉の關係上施工容易ならず乃ち基面を低下する爲め一時本線を一方に移

動して地盤を堀鑿し略竣功を俟て側線布設し列車を通し曩に移動せし本線部分を堀鑿施工せり
其他道水路の付替伏樋の移轉増設等多大の注意を要せしが幸ひ工事は順調に進捗し同年六月竣功せり

第四工區

陸中八木 陸中中野

着手 昭和二年七月十五日
竣功 同 三年八月廿八日

本工區は延長三哩二十三鎖八十六節にして線路は丘陵多き海岸を横斷せるを以て切取築堤の大なるもの相踵き就中自二十五哩四十九鎖至同哩六十二鎖本線切取は最深約四十呎にして其數量四千五百餘立坪を算し地質は堅硬なる花崗岩より成り施工には相當困難を嘗めたり自二十四哩四鎖至同哩十五鎖築堤は最高五十呎に達し其數量約八千二百立坪を算し本區間中最大の土工とす橋梁は基礎地質何れも軟弱なるを以て根入りを深くし或は基礎杭打を施工する等各現場に適切なる工法を施せり就中小子内陸橋久慈方橋台及原子内川橋梁橋臺及橋脚共基礎は堆積土砂なるを以て根入りを低下し且つ杭打を施し辛ふじて良好なる地盤に達せしむるを得たり

有家川橋梁は本工區中最長の橋梁にして鋼鈹桁徑間六十呎五連同三十呎壹連より成り橋脚基礎は堆積土砂なるを以て堅硬なる地盤迄根入りを低下せり橋脚の高さは何れも七十呎以上に

及び鐵骨として六十封度古軌條を建て込み混凝土を施せり而して軀體混凝土施工に當り橋脚高き爲め普通足場により材料を運搬するには多大の材料と工費を要するを以て種々考究の結果木製の『デリッククレイン』を据へ付け動力には石油發動機(十馬力)を使用し捲き揚げ用として約八切入鐵製『バケット』を用ひしに運搬能率を増進し好結果を得たり

第五工區

陸中中野 待濱

着手 昭和二年十二月十日
竣功 同四年八月五日

本工區は延長三哩六十鎖二十節二にして地勢急峻丘陵起伏す地質は殆ど風化せる花崗岩より成るも切取深きものは堅硬なるもの多し道路は二十八哩附近に於て縣道と交叉せるも他は漸次遠ざかり運搬には至て不便なり二十七哩三十鎖附近切取は第一第二粒來隧道の中間に挟まり堆積土より成り湧水を伴ひ崩壞を來す虞ありたるを以て法勾配を一割五分乃至二割に變更し土留として混凝土擁壁を築造し以て安定するを得たり

橋梁は第一乃至第三高家川橋梁にして根堀は素堀又は矢板締切にて施工し基礎地質軟弱なるもの或は洗堀せらるるものは根入を増加し或は基礎杭打を施す等各現場に應じ適切なる方法を講ぜり

隧道は第一乃至第三粒來隧道にして延長合計三十三鎖七十七節なり堀鑿は底設導坑式による地質は全部花崗岩より成り而も斷層多く中には粘土を挾めるものもあり堀鑿の進捗に伴ひ地質の堅軟に應じ覆工の厚さを變更せり偶々第一粒來隧道に於て昭和三年十月二十日八戸方坑口一鎖十節の坑奥より六十節間地表面約十呎低下し坑内陥落の厄に遇ひしが一名の死傷者も出さざりしは不幸中の幸なり該箇所は地質斷層に當り偏壓を受けたるに因るものにして側壁中横壓を受くる部分には抱混凝土を施工し安定するを得たり

第六工區

待濱 久慈

着手 昭和三年三月十九日
竣功 同四年十二月十日

當工區は延長六哩三十二鎖十節八にして線路は九戸街道に併行し重疊たる山脚を縫ひ南下し三十四哩に至り稍々展開したる田甫に出て丘陵の下を右轉左折し久慈川の汎濫區域を通過し久慈町に至る間に於て前半は山脚の間を縫ひ從て切取築堤の大なるもの相踵き剩へ切取地質の不良なるもの又築堤地盤の移動等數ヶ所に起り後半は平坦なるも汎濫區域を通過し工事上迂餘曲折多かりき

本工區内切取に於て珍らしき發見は三十一哩六十四鎖附近施工基面より稍下方に於て土丹盤中より偶然『エビ』『シャコ』に類する甲殻類及木の葉の化石及土器を發掘せしことなり

東京帝國大學理學部地質學教室の鑑定によれば甚だ珍奇なるものにして第三紀末葉今より大凡百二十萬年以前の甲殻類の化石に屬し東洋に於ては未だ發見せられざるものなりとて同理學部より調査の爲め昭和三年七月二十五日理學士佐伯四郎及同飯山敏春の兩氏を現場に派遣

せられたり、母岩は新世代第三紀中葉以後のものにして従て化石は百二十萬年以前のもものと推定せらる

三十哩六十鎖附近に於て約三千立坪の築堤の一部施工中沈降し右側の地盤隆起し左側上方數段に亘り龜裂を生ぜり之れ地下に滑層ありて荷重加はるに從ひ左側より右側に移動せしものと思考せらる此區間内に徑間六呎の堀切拱渠の設計ありしも叙上の如き地質なるを以て位置を變更し疏水隧道とせり尙本線左側中心線に略平行して坑を穿ち栗石を填充し排水を良好ならしめ流水を前記の疏水隧道に誘導し右側下方には滑動防止として混凝土擁壁を築造せり三十三哩五十鎖及同哩五十八鎖附近は線路丘陵の中腹を通過し築堤施工せしに昭和三年十月中一部沈降し右側下方方法尻外方の田面隆起せり仍て其儘翌年四月迄放置し狀況を觀察せしに著しき變化を見ざるを以て工事を續行したるも尙將來の保安上路盤補強工事を施行せり
自三十五哩四十鎖至三十六哩二十二鎖間は久慈川汎濫區域内にて昭和四年五月二十三日同二十四日に亘る稀有の大洪水に遭遇し既成築堤の決壊又は流失せるもの約四百立坪を算し其他建造物の損害は計上する程度に至らざりしも此の洪水に鑑みるに施工基面低きに失するを以て昂上するの必要を認め勾配を變更し且排水上橋梁溝渠の徑間を擴大し或は新設する等適當の方法を講じたり橋梁の主なるものは夏井川及久慈川にして前者は徑間四十呎鋼鉄桁五連より成り橋臺橋脚基礎は表面より七八呎迄砂若くは砂利なるも以下は粘土なるを以て支持力不

充分と認め杭打を施工せり

又久慈川橋梁は徑間四十呎下路鋼鉄桁八連より成り基礎は橋臺、橋脚何れも砂又は小砂利錯綜し洪水に際し洗堀せらるるの虞あるにより杭打を施し根堀は矢板若くは箱枠を使用せり
鳥谷隧道は延長五鎖九十節三にして地質殆んど締まれる土丹盤なり堀鑿は底設導坑式による
工事施工には格別困難なかりしも湧水と風化とを考慮し久慈方坑口内部に仰拱を設けたり
以上は久慈線工事の概要にして更に各工區別及請負人氏名等を列擧すれば次の如し

工 區 別	請 負 人 氏 名	區 間	延 長	當 初 請 負 金 額	着 手 年 月	竣 功 年 月
第一工區	鹿島精一	自九〇哩至九六哩	八哩	一、七、七、〇〇〇、〇〇〇	大正二、二	一三、二
第二工區	稻葉常松	〃〃六九哩至七五哩	九	三、〇、八、八、〇〇〇、〇〇〇	二、四	一三、六
第三工區	白井留吉	〃〃六八哩至七四哩	五	一、五、一、六、〇〇〇、〇〇〇	一、五	一四、一〇
第四工區	鹿島精一	〃〃六三哩至七〇哩	三	二、四、三、三、〇〇〇、〇〇〇	昭和二、七	昭和三、八
第五工區	同人	〃〃三七哩至四四哩	三	三、四、六、〇〇〇、〇〇〇	二、一三	四、八
第六工區	同人	〃〃三三哩至四〇哩	六	六、五、六、〇、〇〇〇、〇〇〇	三、三	五、三

工 費

測 量

大正十一年度より昭和四年度迄の決算額は金五百九萬參千八百拾貳圓拾七錢貳厘昭和四年度は見込額を含むにして之を本線總延長三十七哩四鎖に割當れば一哩の建設費拾參萬七千參百九拾貳圓を要したるものとす其年度節別金額は別表の如し

本線の測量は大正九年四月十七日始めて八戸種差間の地形測量に着手約五ヶ月餘を要し之れ

年 度 別 決 算 明 細 表

節	年 度	大正十一年度	大正十二年度	大正十三年度	大正十四年度	昭和元年度	昭和二年度	昭和三年度	昭和四年度	累 計
測 量 費		0	0	26,950	16,430,850	3,086,013	465,900	430,650	0	20,440,363
用 地 費		133,417,330	503,908,690	152,931,485	2,183,280	2,824,530	50,729,100	59,933,760	12,300,000	918,228,175
土 工 費		65,987,125	302,741,198	86,678,442	45,523,287	4,775,835	197,265,745	517,260,280	318,420,000	1,563,651,912
橋 梁 費		6,677,075	31,027,228	91,044,617	23,680,366	0	66,331,009	84,477,958	121,180,000	424,418,253
溝 橋 費		0	24,772,112	6,571,055	0	0	8,761,280	48,136,025	21,200,000	109,440,472
伏 樋 費		4,516,000	8,252,147	12,053,620	663,910	1 00	10,805,566	42,782,616	4,800,000	83,875,659
隧 道 費		0	0	0	0	0	26,010,000	217,147,475	55,350,000	298,507,475
軌 道 費		0	0	445,952,300	125,190,891	8,445,365	0	108,630	327,170,000	906,867,186
停 車 場 費		0	0	61,612,891	14,684,225	16,360,373	0	0	77,780,000	170,437,489
諸 建 物 費		1,720,879	9,325,580	35,490,997	5,021,000	6,997,400	5,577,020	7,945,510	37,500,000	125,066,297
防 火 防 雪 費		0	0	137,465,590	24,077,100	1,370,470	991,970	0	25,000,000	188,905,130
運 送 費		3,726,780	5,960,440	24,511,358	12,183,718	1,142,800	2,650,561	2,159,630	50,000,000	102,335,287
建 築 用 汽 車 費		0	0	31,636,493	6,668,955	864	0	0	40,000,000	78,306,312
建 築 用 具 費		19,364,410	12,910,120	1,761,013	719,576	1,549,240	679,500	5,400	2,200,000	39,189,259
柵 垣 及 境 界 杭 費		2,189,915	1,144,915	2,283,795	698,558	684,200	500,950	0	420,000	7,922,333
電 線 費		11,223,392	397,124	11,280,069	2,328,928	5,543,725	3,406,212	361,120	16,680,000	51,220,570
計		264,310,817	900,439,554	1,101,300,675	280,054,644	52,782,615	37,417,813	1,010,749,054	1,110,000,000	5,093,812,172

表 冊 理 算 次

日	業	算	冊	理	算	次
1921.04.17	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.18	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.19	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.20	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.21	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.22	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.23	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.24	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.25	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.26	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.27	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.28	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.29	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00
1921.04.30	測量	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00	1,100,000.00

本線の測量は大正九年四月十七日始めて八戸種差間の地形測量に着手約五ヶ月餘を要し之れ

が實測の着手は十一年六月二十三日にして約一ヶ月餘にて終る夫れより種差荒津内、荒津内陸中八木、陸中八木久慈間に順次着手し全く測量の終りたるは大正十四年八月十二日なりとす尙本線には山手線と海岸線との比較線ありて大正十年七月十四日より約三ヶ月に亘り比較調査せり今測量従事員の氏名従事期間等を擧ぐれば左の如し

測 量 間 量	八戸種差間		區 間	從 事 員 氏 名	從 事 期 間	摘 要
	八戸種差間	八戸種差間				
比八	技手	技手	大正	中島忠顯	九、四、一七、一九、七、三一	地形測量
較戸	雇	雇	〃	上野研一郎	〃	〃
線久	〃	〃	〃	寺末吉	〃	〃
測慈	〃	〃	〃	沼田秀雄	一一、六、二三、一一、七、二八	中心測量
量間	〃	〃	〃	千陽勝郎	〃	〃
	〃	〃	〃	高木彌三郎	〃	〃
	〃	〃	〃	佐藤乙夫	〃	〃
	技手	技手	〃	中島忠顯	一〇、七、一四、一〇、一〇、一二	山手線調査
	雇	雇	〃	白井秀藏	〃	〃
	〃	〃	〃	安田新	〃	〃
	〃	〃	〃	寺末吉	〃	〃
	〃	〃	〃	沼田秀夫	一〇、七、二三、一〇、一〇、二五	海岸線調査

土 工 明 細 表

第 壹 工 區 0M68C - 9M05C 着手大正 11. 11. 20. 竣功 " 13. 2. 13.		第 貳 工 區 9M05C - 18M35C 着手大正 12. 4. 1. 竣功 " 13. 6. 25.		第 參 工 區 18M35C - 23M50C 着手大正 13. 5. 20. 竣功 " 14. 10. 25.		第 四 工 區 23M50C - 26M74C 着手昭和 2. 7. 15. 竣功 " 3. 8. 28.		第 五 工 區 26M74C - 30M27C 着手昭和 2. 12. 10. 竣功 " 4. 8. 5.		第 六 工 區 30M27C - 36M58C 60 着手昭和 3. 3. 19. 竣功 " 4. 12. 10.		陸 奧 湊 停 車 場 2.M10C 15 着手大正 15. 1. 15. 竣功 " 15. 6. 10.		合 計		平 均 單 價
數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	數 量	金 額	數 量	數 量	金 額	金 額
20,952 060	146,664 420	23,854 984	95,419 936	14,346 014	30,126 692	24,217 640	150,149 368	24,298 684	136,072 630	38,832 701	217,463 125	1,136 430	4,147 969	147,687 970	780,202 306	5 282
21,392 700	40,218 276	24,569 606	36,854 409	14,712 733	28,395 574	23,382 917	49,105 125	22,910 003	45,820 006	79,723 633	279,032 715			187,023 922	481,619 483	2 575
541 197	18,655 468	47 836	1,309 822	261 781	4,646 067	647 262	19,469 574	469 411	13,512 779	304 123	9,164 307			2,271 910	66,758 017	29 334
						92 083	7,366 640	22 242	1,935 054	68 158	6,066 062			182 483	15,367 756	84 214
5 975	406 300	1 475	98 825	0 659	62 605	0 898	71 840	0 535	42 800					9 542	682 370	71 512
						0 338	8 450							0 338	8 450	25 000
						24	91 200							24	91 200	3 800
				15	120 000									15	120 000	8 000
24 5	147 000			247 791	2,066 576					181 939	2,729 085			429 730	4,795 661	11 159
								92 5	370 000	120	36 000			104 5	406 000	3 885
								110	231 000	120	240 000			23 0	471 000	20 478
1,726 746	12,087 222	2,085 373	8,341 492	658 698	1,383 265	287 858	1,784 719	1566 942	8,774 875			1,199 424	4,377 897	7,525 041	36,749 470	4 880
2,455 574	4,616 479	1,333 615	2,000 422	634 113	1,223 838	1,098 975	2,307 847	3,815 895	7,631 790	8,587 938	30,057 783	108 934	163 401	18,035 044	48,001 560	2 661
48 011	1,680 335			0 626	56 340									48 011	1,680 385	35 000
												8 957	895 700	9 583	952 040	99 346
0 833	19 992													0 833	19 992	24 000
395 571	2,768 997	112 972	451 888	83 833	176 049	40 842	253 220	1,229 434	6,884 830	1,040 467	5,826 615			2,903 119	16,361 599	5 635
								15 441	30 882	30 437	106 529			45 878	137 411	2 995
87 973	2,315 558	98 360	1,971 450	23 882	703 205			73 670	1,521 640	94 491	2,176 332	1 196	17 940	379 572	9,706 125	25 571
0 663	45 084													0 663	45 084	68 000
														67 411	6,001 454	89 253
				0 312	28 080							1 393	139 300	69 116	6,168 834	9 000
				2 870	25 830									2 870	25 830	9 000
1	182 704											3	195 937	4	378 641	94 660
1	78 000													1	78 000	78 000
5	197 000													5	197 000	39 400
14	56 000													14	56 000	4 000
										48 5	168 450			48 5	168 450	3 473
1,044 616	7,312 312	31 904	127 616	527 035	1,106 773	13 626	84 481	167 063	935 552	397 794	2,227 646	11 949	43 613	2,193 987	11,837 993	5 395
376 753	708 295	57 667	86 500	51 781	99 937	85 557	179 669	38 543	77 086	111 404	389 914	105 676	158 514	827 381	1,699 915	2 054
321 670	270 202	657 262	460 083	238 707	119 353	110 000	66 000	207 517	83 006	343 633	171 816	174 817	78 667	2,053 606	1,249 127	0 608
240 340	5,287 480	33 409	501 135	41 056	739 008	2 572	72 016			10 358	207 160	9 889	161 190	337 624	6,967 989	20 638
45 733	1,423 785									14 664	330 057			66 842	1,882 742	28 167

土 工 明 細 表

名 稱	工 事 種 類	單 位 稱 呼	0M30C - 0M68C 着手大正 12. 11. 1. 竣功 " 13. 4. 26.		0M68C - 9M05C 着手大正 11. 11. 20. 竣功 " 13. 2. 13.		9M05C - 18M35C 着手大正 12. 4. 1. 竣功 " 13. 6. 25.		18M35C - 23M50C 着手大正 13. 5. 20. 竣功 " 14. 10. 25.		23M50C - 26M74C 着手昭和 2. 7. 15. 竣功 " 3. 8. 28.		26M74C - 30M27C 着手昭和 2. 12. 10. 竣功 " 4. 8. 5.		30M27C - 36M58C 60 着手昭和 3. 3. 19. 竣功 " 4. 12. 10.	
			數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	數 量
			本 線	切 取 立 坪	坪	49 427	158 166	20,952 060	146,664 420	23,854 984	95,419 936	14,346 014	30,126 692	24,217 640	150,149 368	24,298 684
	築 堤 "	坪	332 330	2,193 378	21,392 700	40,218 276	24,569 606	36,854 409	14,712 733	28,395 574	23,382 917	49,105 125	22,910 003	45,820 006	79,723 633	279,032 715
	土 留 石 垣 面 坪	坪			541 497	18,655 468	47 836	1,309 822	261 781	4,646 067	647 262	19,469 574	469 411	13,512 779	304 123	9,164 307
	石 垣 裏 混 凝 土 立 坪	坪									92 083	7,366 640	22 242	1,935 054	68 158	6,066 062
	基 礎 混 凝 土 "	坪			5 975	406 300	1 475	98 825	0 659	62 605	0 898	71 840	0 535	42 800		
	基 礎 栗 石 "	坪									0 338	8 450				
	基礎杭打 5'.0×6'.0 本	本									24	91 200				
	同 上 0'.5×9'.0 "	坪							15	120 000						
	盲下水断面9平方呎 間	間			24 5	147 000										
	張 混 凝 土 面 坪	坪							247 791	2,066 576					181 939	2,729 085
	粗 朶 柵 間	間											92 5	370 000	120	36 000
	板 柵 "	坪											11 0	231 000	120	240 000
停 車 場	切 取 立 坪	坪			1,726 746	12,087 222	2,085 373	8,341 492	658 698	1,383 265	287 858	1,784 719	1566 942	8,774 875		
	築 堤 "	坪			2,455 574	4,616 479	1,333 615	2,000 422	634 113	1,223 838	1,098 975	2,307 847	3,815 895	7,631 790	8,587 938	30,057 783
	土 留 石 垣 面 坪	坪			48 011	1,680 385										
	混 凝 土 立 坪	坪								0 626	56 340					
	盲 下 水 深 2'.0 "	坪			0 833	19 992										
川 溝 付 替	切 取 "	坪			395 571	2,768 997	112 972	451 888	83 833	176 049	40 842	253 220	1,229 434	6,884 330	1,040 467	5,826 615
	築 堤 "	坪											15 441	30 882	30 437	106 529
	土 留 石 垣 面 坪	坪			87 973	2,315 558	98 360	1,971 450	23 882	703 205			73 670	1,521 640	94 491	2,176 332
	踏 止 混 凝 土 立 坪	坪			0 663	45 084										
	混 凝 土 "	坪								0 312	28 080				67 411	6,001 454
	張 混 凝 土 面 坪	坪								2 870	25 830					
	函 渠 箇 所	所			1	182 704										
	水 閘 "	所			1	78 000										
	水槽及附屬鐵管移轉 "	所			5	197 000										
	土 管 徑 0.75 本	本			14	56 000										
	粗 朶 箇 所	所													48 5	168 450
道 路 付 替	切 取 立 坪	坪			1,044 616	7,312 312	31 904	127 616	527 035	1,106 773	13 626	84 481	167 063	935 552	397 794	2,227 646
	築 堤 "	坪			376 753	708 295	57 667	86 500	51 781	99 937	85 557	179 669	38 543	77 086	111 404	389 914
	搔 均 し 面 坪	坪			321 670	270 202	657 262	460 083	238 707	119 353	110 000	66 000	207 517	83 006	343 633	171 816
	敷 砂 利 立 坪	坪			240 340	5,287 480	33 409	501 135	41 056	739 008	2 572	72 016			10 358	207 160
	土 留 石 垣 面 坪	坪			45 733	1,423 785					6 445	128 900			14 664	330 057
	混 凝 土 立 坪	坪								1 394	125 460	0 662	52 960			

	混 凝 土	〃						0312	28080						67411	6,001454
	張 混 凝 土	面 坪						2870	25830							
	函 渠	筒 所														
	水 閘	〃														
	水槽及附屬鐵管移轉	〃														
	土 管 徑 0.75	本														
	粗 梁 筋	間													485	168450
道路付替	切 取	立 坪														
	築 堤	〃														
	搔 均 し	面 坪														
	敷 砂 利	立 坪														
	土 留 石 垣	面 坪														
	混 凝 土	立 坪														
	石 段 移 設	面 坪														
	道路橋移設	筒 所														
	盲下水斷面9平方呎	間														
	軌 道 移 設	鎮														
	土 橋	筒 所														
	蓋 板 厚 3"	面 坪														
	箱樋0'5×0'5×6'0	筒 所														
	土 管 徑 0.75	本														
	同 徑 1.0	〃														
	同 徑 1.5	〃														
踏 切 道	切 取	立 坪														
	築 堤	〃													9531	62904
	搔 均 し	面 坪														
	敷 砂 利	立 坪														
	土 留 石 垣	面 坪														
	道 路 橋	筒 所														
	箱 樋	〃														
	張 混 凝 土	面 坪														
	土 管 徑 0.5	本													4	10000
	同 徑 0.75	〃													7	28000
	同 徑 1.0	〃														
	同 徑 1.5	〃														
	石 段 移 設	面 坪														
	土管撤去徑0.75	本														
	土管撤去徑1.0	〃														

備 考 金額は支給品を含まず請負金額なり

二千九百九十九圓にして平均一呎當り百參拾六圓又は拱橋は六ヶ所徑間七十八呎軸長五百二十呎六費額八萬參千參百八拾壹圓にして軸長一呎に付百六拾圓跨線道路橋二ヶ所延長百四十五呎此費額八千參拾六圓にして一呎當り五拾五圓なりとす其明細を示せば左表の如し

橋 梁 表

名 稱	哩	鎖 節	延 長 吋	徑 長 吋	間 數	桁又は拱の材質	橋臺橋脚の材質	基礎工	費 額	一呎當費額
新井田川橋梁	一	七五七、五	五〇三	四〇〇	二	上鋼桁	混土	杭打、石	五三、六三四、一七	一〇六、〇七
泊川拱橋	一三	七三〇、五	一一三	一五〇	一	混土	混土	混土	二二、八〇七、二	二〇一、六六五
小舟渡川拱橋	一三	三九五、五	三九一、五	二二〇	一	上鋼桁	混土	混土	六、六〇四、九四三	一六八、八一六
澁谷川橋梁	一五	三四三、五	一五	一五〇	一	上鋼桁	混土	混土	三、六五四、〇八三	二四三、六〇五
川尻川橋梁	一七	一〇〇一、八	九六	三〇〇	三	上鋼桁	混土	混土	一〇、九〇九、六七〇	一一三、三三
鹿糠川橋梁	一八	五〇七、八	一八	一八〇	一	木	混土	混土	四、〇六七、四七	二二七、〇八
鹿糠誇線橋	一八	六九五、八	五五	幅九〇	一	木	混土	混土	二、二四七、五五〇	四〇八、六四
和座川拱橋	一九	五三〇、八	九四	一五〇	一	混土	混土	混土	一六、七二七、五八四	一七〇、一一
玉川拱橋	二〇	四四五、一	五三	二二〇	一	混土	混土	混土	五、四九〇、六三五	一〇三、一一〇
戸類家川拱橋	二〇	六四〇、一	三五	二二〇	一	混土	混土	混土	四、三三九、八九五	一一四、二七五
大濱川橋梁	二三	二五〇、一	一三	三〇〇	四	上鋼桁	混土	混土	一七、四〇三、三六五	一三一、四三

溝 橋

八木川橋梁	二三	〇七六、一	一五	一五〇	一	上鋼桁	混土	混土	四、五五九、七五	三〇三、九八一
小子内拱橋	二四	〇八六、一	八五、六分	一三〇	一	混土	混土	混土	二七、三八〇、八九	一四七、五六〇
小子内陸橋	二四	一三四、一	四〇	四〇〇	一	上鋼桁	混土	混土	一三、六七三、〇〇〇	三四一、八〇〇
原子内橋梁	二四	三九〇、一	二九	四〇〇	一	上鋼桁	混土	混土	二四、二六八、八	一八七七、七
有家川橋梁	二五	六九〇、五	三五	六〇〇	一	混土	混土	混土	七〇、九一八、〇〇〇	一九九、二〇七
第一高家川橋梁	二七	六九〇、一	二九	四〇〇	三	混土	混土	混土	一一、四六九、〇〇〇	九六、六五八
第二高家川橋梁	二八	六七四、一	一七	四〇〇	四	混土	混土	混土	一八、九〇三、〇〇〇	一八、九五二
第三高家川橋梁	二八	七七四、一	一七	四〇〇	四	混土	混土	混土	一八、二〇一、〇〇〇	一〇四、九〇
宇津目跨線橋	三三	一八四、九	九〇	幅八〇	一	鐵筋混土	古軌條	混土	五、七八九、〇〇〇	六四、三三
夏井川橋梁	三四	三五八、九	二八	四〇〇	五	上鋼桁	混土	混土	二四、三四〇、〇〇〇	一一五、三
第一久慈避溢橋	三六	四七三、一	二〇	二〇〇	一	下路鋼桁	混土	混土	三、三三五、〇〇〇	一六、七五〇
久慈川橋梁	三六	五二一、一	三五	四〇〇	八	下路鋼桁	混土	混土	四六、九二〇、〇〇〇	一三、四八五
第二久慈川避溢橋	三六	五七七、一	三三	一五〇	二	上鋼桁	混土	混土	二、六〇三、〇〇〇	七、四九八
細谷橋梁	三六	五七七、四	三六	一〇〇	三	上鋼桁	混土	混土	三、二六〇、〇〇〇	九〇、五五五

本線に於ける溝橋は總數三十七ヶ所内開渠十三ヶ所此徑間延長九十呎函渠十二ヶ所軸長八百六十九呎一拱渠九ヶ所軸長七百六十四呎三疏水隧道三ヶ所軸長五百九十六呎にして之に要し

604
54

たる費額拾萬九千四百四拾圓四拾七錢貳厘即ち一ヶ所平均貳千九百五拾七圓八拾五錢に當れり而して之れが基礎構造は地質に應じ夫々混凝土、栗石混凝土及杭打等を施工せり軀體は凡て混凝土にして開渠には輾壓工形桁を架設せり
今種別及費額の明細を擧ぐれば左表の如し

種別	徑間	箇所	徑間長又は延長	費額	平均費額	
					一個所當り	一呎當り
開渠	四呎	二	八呎	一、二八四、二六九	六四三、三四	一六〇、五三三
同	六呎	六	三六	四、九〇、四〇〇	八一九〇	一三六一、五〇〇
同	八呎	二	一六	三、八〇、四六五	一九〇、三三三	一一九〇、七七
同	一〇呎	三	三〇	六、四五、一六八	二、一五〇、五九九	二、五〇、五三
同	三〇呎	三	九〇	一八、五三、四九〇	二、〇五九、二七六	一七、七六六
同	四〇呎	九	三七六	一四、七三、九一九	三、六四七、九九	四九、二四三
同	六〇呎	三	一八六	二、二五六、七	四、〇八六、一八九	六、三三六
同	八〇呎	二	一六	二五、〇八、二八〇	一二、五四、一九〇	九三、四三〇
同	一〇〇呎	二	二六			

種別	徑間	箇所	徑間長又は延長	費額	平均費額	
疏水道	六〇	二	三六五	一〇、三六、四四五	五、一五八、三三三	二六、七九五
同	一〇〇	一	二二	九、六九、三七〇	九、六九、三七〇	四三、四五六

伏樋

本線伏樋の總數は二百九十六個所軸延長總計一萬五千二十四呎此費額八萬三千八百七拾五圓六拾五錢九厘なり土管は口徑六吋乃至一呎六吋を伏設せり其明細左表の如し

種別	箇所數	軸延長又は徑間長	費額	平均費額	
				個所當り	一呎當り
土管	二七四	一四、九呎	八〇、九〇、二四〇	二九五、五八五	五、四一七
下水管	三	三〇	二、六三、七四四	一、二五、三六九	八三、二七三
吮放管	一	四〇	二五、三六、七五	二五、三六、七五	五、四九三

隧道

本線の隧道總數は四ヶ所延長二千六百十八呎此費額貳拾九萬八千五百七圓四拾七錢五厘に
伏樋、隧道

して一呎に付平均百拾四圓參厘に當る其位置構造地質費額等を擧ぐれば左表の如し

名稱	始點		終點		延長	形狀	構造	地質	費額	一呎に對する費額
	哩	鎖節	哩	鎖節						
第一粒來	二七	二九六、一	二七	二七六、一	一、〇六四	甲型	混泥土塊	花崗岩	一〇、六七四、六四三	一〇八八八
第二粒來	〃	三〇九、一	〃	四〇五、一	六九〇	〃	〃	〃	七、九四六、一五	一一四三四
第三粒來	〃	四三六、一	〃	五二六、一	五三四	〃	〃	〃	六、三七八、一八	一三四七六
鳥谷	三三	一七六、六	三三	六〇七、九	三九六	〃	〃	岩砂、頁	四、五〇三、九	一三一九

軌道及架桁

本線に於ける軌道敷設及橋桁架設工事は各區間路盤工事の竣成に伴ひ直營を以て施工せり軌條は六十封度第三種を相對式に敷設し道床砂利は切込砂利にして新井田川種市海岸夏井川等より採集し撒布總坪數八千四百三十四立坪一哩當り二百二十八立坪なり枕木は栗材を主とし工事現場には建築列車を以て運搬せり

桁組立鉸銀ペイント塗は直營又は請負とし架設は總て直營を以て施行し桁材は各工事現場附

近の停車場に輸送し組立後建築列車にて運搬し手延式、二連連結式、又はサンドルを用ゐ架設せり左に軌道表を掲ぐ

軌道表

區間	軌條		敷數		砂利	
	本線	側線	一哩當金額	立積	金額	一哩當金額
八戸種市	一八哩	二哩	二〇、一四二、〇六六	三、六六九	三、六〇五、〇三	一、六〇七、七三
種市—陸中八木	三五哩	〃	二〇、七一〇、五七一	一、一七〇	七、六六九、七五	一、三四二、七五
陸中八木—陸中久慈	一三哩	一哩	一九、一五三、二四	三、四九五	三、五〇〇、〇〇〇	二、八四三、九

停車場

本線内には十個所の停車場を新設す而して種市停車場には給水設備をなし久慈停車場には機關分庫轉車臺並に灰坑を設け給水給炭の設備を爲す又各停車場には第二種聯動裝置をなし本線對向轉轍器には標識を設備せり

各停車場の位置距離其他設備を示せば左表の如し

停車場

用途		種別	回線數	通信線路	電話機	音響器	閉塞器	反應器	電氣信號機
營業用	電線	二	六五三三三米	二					
同	電信線	一	一五八七二米						
同	閉塞線	二〇	五九二七						
同	反應器	二〇	五九二七						
同	電氣信號機	四	三五六九						
其他	鋼	18'							
		20'							
		30'							
		40'							
		スル一型							
		40'							
		60'							
轉車	臺	60'							
其他									
計									
第一減摩油	立								
車軸油	"								
第二減摩油	"								
機械油	"								
第三減摩油	"								
汽筒油	"								
切込炭	砵								
系層	砵								
計									
合									

建築用汽車

主要材料及運送

本線工事に使用せる主要材料は左表に示すが如きものにして之れが運送は凡て陸運に依りしものなるが線路は路面比較的良好なる縣道と併行せるを以て多くは馬車運搬をなし一面軌道工事の進捗に随ひ建築列車にて運送し全區間特記すべき輸送難にも會せず極めて順調なる供給を見たり而して湊陸中八木の各要所には倉庫を設置して之れが保管配給の用に供したり

主要材料及運送、建築用汽車
之を改修し開通迄に左表の通り施設せり

用途	種別	回線數	通信線路	電話機	音響器	閉塞器	反應器	電氣信號機
營業用	電線	二	六五三三三米	二				
同	電信線	一	一五八七二米					
同	閉塞線	二〇	五九二七					
同	反應器	二〇	五九二七					
同	電氣信號機	四	三五六九					

主要材料一覽表

單位 稱呼	大正十一年		大正十二年		大正十三年		大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年		昭和四年		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
米					63,501 ²³	221,133,880	17,517 ²⁵	58,767,600	491 ²⁵	1,612,740					51,810 ²⁸	160,612,178	133,351 ²²	412,126,398
古板					11,878	14,728,720	2,837	3,517,380	204	251,780					1,973 ²⁶	3,507,407	2,833 ⁰²	4,967,961
枚個					26,307	2,446,551	6,433	593,469			329 ⁰⁴	559,350	530 ¹²	901,204	10,848	8,812,610	25,767	27,310,990
木挺					25,983	753,507	7,657	224,553							22,090	1,915,030	54,830	4,955,050
組					172,683	11,915,127	59,663	4,116,747	2,540	175,360					21,690	498,870	55,330	1,476,930
組					44,707	115,254,970	13,308	35,476,020	162	393,640					156,340	9,635,480	391,226	25,812,614
組					739	4,018,651	217	1,113,355	191	899,828					36,278	72,977,700	94,455	224,102,330
組					440	2,933,160	96	342,240							916	4,834,120	2,063	10,866,554
組					24	8,387,600	6	1,765,300	5	1,324,200					1,106	5,241,210	1,642	8,516,610
組					24	2,234,400	6	563,400	5	498,800					27	6,072,414	62	17,549,514
組									2	492,000					24	4,594,000	59	7,895,600
組					7	1,848,000	2	518,000	2	560,000					4	1,198,400	6	1,690,400
組					7	2,121,000	2	599,000	2	654,000					8	3,801,800	19	6,727,800
組														2	745,600	13	4,119,600	
組														4	2,622,000	4	2,622,000	
タル袋	268	1,648,200	3,525 ⁵	22,954,875	3,385	19,718,750	1,113 ⁵	6,067,375	231	1,251,900	4,550	22,978,700	15,448	67,357,720	4,316	20,527,030	32,840	162,504,600
組			4,800	8,186,000					400	520,000	2,000	2,525,000	6,198	7,654,530	3,002	2,780,470	16,400	21,666,000
組					10	486,000	4	180,200	4	216,290					16	504,100	34	1,386,590
組					4	1,299,237	1	286,505	1	264,684					3	776,952	9	2,627,378
組					1	74,080									1	69,120	2	143,200
組					2	206,156									3	284,040	5	490,196
組														2	285,120	2	285,120	
組														4	852,480	4	852,480	
組					1	824,480	1	400,998						2	756,000	4	1,981,478	
組					1	481,740										1	481,740	
組							1	614,080								1	614,080	
組														1	739,380	1	739,380	
組					3	3,833,970	4	5,139,948						1	622,500	8	9,596,418	
組					11	23,240,950								20	39,087,788	31	62,328,738	
組														8	24,840,000	8	24,840,000	
組														5	19,303,750	5	19,303,750	
組														1	2,549,000	1	2,549,000	
組		10,932,802		15,870		11,539,202		3,371,850		8,701,640		2,331,575		2,057,050		39,901,635		78,851,624
組		12,581,002		31,156,745		449,480,131		123,694,120		17,816,762		28,394,625		77,970,501		440,948,231		1,182,042,123

建築用汽車

由立					720	122,720	173	29,453						431	70,930	1,324	223,103
由					955	214,260	342	87,400						571	91,987	1,868	423,647
由					596	198,410	184	65,076						859	144,714	1,639	408,200
由炭					504	8,008,800	115	1,851,500						350	5,547,500	969	15,407,800

建築用汽車

米				63,501 ²³	221,133,880	17,547 ²⁶	58,767,600	491 ²⁵	1,612,740					51,810 ²⁸	160,612,178	133,351 ²²	442,126,398	
古										329 ²⁴	559,350	530 ¹²	901,204	1,973 ²⁶	3,507,407	2,833 ⁰²	4,967,961	
枚				11,878	14,728,720	2,837	3,517,380	204	251,780					10,843	8,812,610	25,767	27,310,990	
個				26,307	2,446,551	6,433	593,469							22,090	1,915,030	54,830	4,955,050	
本				25,983	753,507	7,657	224,553							21,690	498,870	55,330	1,476,930	
挺				172,683	11,915,127	59,663	4,116,747	2,540	175,260					156,340	9,635,480	391,226	25,812,614	
組				44,707	115,254,970	13,308	35,476,020	162	393,640					36,278	72,977,700	94,155	224,102,330	
組				739	4,018,651	217	1,113,955	191	899,828					916	4,834,120	2,063	10,866,554	
組				440	2,933,160	96	342,240							1,106	5,241,210	1,642	8,516,610	
組				24	8,387,600	6	1,765,300	5	1,324,200					27	6,072,414	62	17,549,514	
組				24	2,234,400	6	563,400	5	498,800					24	4,594,000	59	7,895,600	
組								2	492,000					4	1,198,400	6	1,690,400	
組				7	1,848,000	2	518,000	2	560,000					8	3,801,800	19	6,727,800	
組				7	2,121,000	2	599,000	2	654,000					2	745,600	13	4,119,600	
組														4	2,622,000	4	2,622,000	
袋	268	1,648,200	3,525 ²⁵	22,954,875	3,385	19,718,750	1,113 ²⁵	6,067,375	231	1,251,900	4,550	22,978,700	15,448	67,357,720	4,316	20,527,080	32,840	162,504,600
組			4,800	8,186,000					400	520,000	2,000	2,525,000	6,198	7,654,530	3,002	2,780,470	16,400	21,666,000
組					10	486,000	4	180,200	4	216,290				16	504,100	34	1,386,590	
組					4	1,299,237	1	286,505	1	264,684				3	776,952	9	2,627,378	
組					1	74,080								1	69,120	2	143,200	
組					2	206,156								3	284,040	5	490,196	
組														2	285,120	2	285,120	
組														4	852,480	4	852,480	
組					1	824,480	1	400,998						2	756,000	4	1,981,478	
組					1	481,740										1	481,740	
組							1	614,080								1	614,080	
組														1	739,380	1	739,380	
組					3	3,833,970	4	5,139,948						1	622,500	8	9,596,418	
組					11	23,240,950								20	39,087,788	31	62,328,738	
組														8	24,840,000	8	24,840,000	
組														5	19,303,750	5	19,303,750	
組														1	2,549,000	1	2,549,000	
組		10,932,802		15,870	11,539,202		3,371,850		8,701,640		2,331,575		2,057,050		79,901,635		78,851,624	
組		12,581,002		31,156,745	449,480,131		123,694,120		17,816,762		28,394,625		77,970,504		440,948,231		1,182,042,123	
立				720	122,720	173	29,453							431	70,930	1,324	223,103	
組														571	91,987	1,868	423,647	
組														859	144,714	1,639	408,200	
組														350	5,547,500	969	15,407,800	
組														210	48,930	610	187,900	
組					8,686,190		2,060,390								5,904,061		16,650,650	
組		12,581,002		31,156,745	458,766,321		125,754,519		17,816,762		28,394,625		77,970,504		446,852,295		1,198,692,773	

品 名	單位 稱呼	大正十一年		大正十二年		大正十三年		大正十四年		昭和元年		昭和二年		昭和三年		昭和四年	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
レール	米					63,501 ²³	221,133.880	17,517 ³⁵	58,767.600	491 ²⁵	1,612.740					51,810 ³³	160,612.178
同 古	〃											329 ²⁴	559.350	530 ¹²	901.204	1,973 ²⁶	3,507.407
繼 目 板	枚					11,878	14,728.720	2,837	3,517.380	204	251.780					10,848	8,812.610
同上用ホルト	個					26,307	2,446.551	6,433	593.469							22,090	1,915.030
ロックナットワッシャー	〃					25,983	753.507	7,657	224.553							21,690	498.870
犬 釘	本					172,683	11,915.127	59,663	4,116.747	2,540	175.260					156,340	9,635.480
枕 木 並	挺					44,707	115,254.970	13,308	35,476.020	162	393.640					36,278	72,977.700
ポイント枕木	〃					739	4,018.651	217	1,113.955	191	899.828					916	4,834.120
橋 枕 木	〃					440	2,933.160	96	342.240							1,106	5,241.210
ポイント附屬品共	組					24	8,387.600	6	1,765.300	5	1,324.200					27	6,072.410
ク ロ ッ シ ン グ	〃					24	2,234.400	6	568.400	5	498.800					24	4,594.000
出發信號機	〃									2	492.000					4	1,198.400
場内信號機	〃					7	1,848.000	2	518.000	2	560.000					8	3,801.800
遠方信號機	〃					7	2,121.000	2	599.000	2	654.000					2	745.600
電気信號機	〃															4	2,622.000
セメント大樽	タル	268	1,648.200	3,525 ⁵	22,954.875	3,385	19,718.750	1,113 ⁵	6,067.375	234	1,251.900	4,550	22,978.700	15,448	67,357.720	4,316	20,527.080
〃	袋			4,800	8,186.000					400	520.000	2,000	2,525.000	6,198	7,654.530	3,002	2,780.470
聯動機接續桿共	組					10	486.000	4	180.200	4	216.290					16	504.100
双動機附屬品共	〃					4	1,299.237	1	286.505	1	264.684					3	776.950
工 形 桁 4'	スパン					1	74.080									1	69.120
〃 6'	〃					2	206.156									3	284.040
〃 8'	〃															2	285.120
〃 10'	〃															4	852.480
〃 15'	〃					1	824.480	1	400.998							2	756.000
槽 狀 桁 10'	〃					1	481.740										
鋸 〃 桁 18'	〃							1	644.080								
〃 20'	〃															1	739.380
〃 30'	〃					3	3,833.970	4	5,139.948							1	622.500
〃 40'	〃					11	23,240.950									20	39,087.780
〃 40' スルー型	〃															8	24,840.000
〃 60'	〃															5	19,303.750
轉 車 臺 60'	組															1	2,549.000
其 他			10,932.802		15.870		11,539.202		3,371.850		8,701.640		2,331.575		2,057.050		39,901.630
計			12,581.002		31,156.745		449,480.131		123,694.120		17,816.762		28,394.625		77,970.501		440,948.230
第一減摩油																	
車 軸 油	立					720	122.720	173	29.453							431	70.930
第二減摩油																	
機 械 油	〃					955	244.260	342	87.400							571	91.980
第三減摩油																	
汽 筒 油	〃					596	198.410	184	65.076							859	144.710
〃						504	8,008.800	115	1,851.500							350	5,547.500

604
54

建築用汽車

種類	大正十三年度		大正十四年度		昭和四年度		合計	
	數量	費額	數量	費額	數量	費額	數量	費額
石炭	503	8,000	115	1,850	350	5,500	968	15,350
第一車油	710	11,710	173	2,930	431	7,030	1,314	21,670
第二車油	955	2,440	343	8,700	571	9,287	1,467	20,427
第三車油	596	1,910	184	6,506	859	14,774	1,639	23,190
第三機油	1	11,000	6	2,670	210	4,930	217	18,600
第三汽筒	34	5,635	1	4,743	1	2,935	36	13,313
雜品	1	1	1	1	1	1	3	3
計	3,800	40,680	1,073	23,500	2,021	38,927	6,895	103,110

建築列車運轉用品消費高表

軌道工事の進捗に伴ひ順次建築列車を運轉して砂利撒布及工所用諸材料の運送に供したり機關車型は八戸陸中八木間に於ては五、四〇〇 二、五〇〇 六〇〇 五〇〇型四臺を使用せり
 今是等運轉に要したる消耗品數量及費額を擧ぐれば次表の如し

種類	數量	費額	數量	費額	數量	費額	合計	
石炭	503	8,000	115	1,850	350	5,500	968	15,350
第一車油	710	11,710	173	2,930	431	7,030	1,314	21,670
第二車油	955	2,440	343	8,700	571	9,287	1,467	20,427
第三車油	596	1,910	184	6,506	859	14,774	1,639	23,190
第三機油	1	11,000	6	2,670	210	4,930	217	18,600
第三汽筒	34	5,635	1	4,743	1	2,935	36	13,313
雜品	1	1	1	1	1	1	3	3
計	3,800	40,680	1,073	23,500	2,021	38,927	6,895	103,110

604
54

職工人夫賃金

本線に於ける直営工事に使役したる職工人夫は雇傭契約に依り請負者をして供給せしめたり其年度別賃金を示せば左表の如し

諸職工人夫賃金表

職名	年度	
	最低	最高
並人夫	一・三〇	一・三五
女人夫	〇・八五	一・一〇
大工	二・七〇	三・〇〇
馬持人夫	五・〇〇	五・〇〇
鍛冶工	二・五〇	二・五〇
ペイント職工	三・〇〇	三・〇〇
製鐵工	三・八〇	三・八〇

詰所

建設工事監督上設置したる詰所左の如し

詰所位置表

名	稱	位	置	設置年月	廢止年月
漆谷詰所	所	青森縣三戸郡湊村	大正十一年十一月	大正十三年十二月	
澁谷詰所	所	同縣九戸郡種市村	同十二年四月	同十四年一月	
宿戸詰所	所	同縣九戸郡種市村	同十三年六月	同十四年十二月	
高家詰所	所	同縣郡侍濱村	昭和二年七月		
夏井詰所	所	同縣郡夏井村	同三年三月		

從事職員

本線建設工事關係所長技師各掛主任及各詰所從事員左の如し

詰所、從事職員

604
54

從事職員

職名	在職期間	官名	氏名
倉庫掛主任	大正九、四、二 同 一、一、二 同 一、二、九 同 一、三、一五 同 一、四、一三 昭和 二、八、一	同 屬	朗 角太郎 中 村金太郎 青 柳真次 牧 原喜一郎 青 木 狩 野政吉
會計掛主任	大正九、四、二〇 同 一、三、二二 同 一、五、一九 昭和 二、三、二五	同 屬	松 岡平茂 藤 岡玄徳 久 保村慎一 富 田釘吉
用地掛主任	大正九、四、一 同 一、三、二一 昭和 三、七、一三	同 屬	久 田正美 島 田隆介 石 澤清
庶務掛主任	大正九、四、二六 同 一、二、一八 同 一、三、一八	同 屬	久 藤正美 進 藤正美 久 田正美

三三

從事職員

從事職員表

職名	在職期間	官名	氏名
所長	大正九、四、七 同 九、一〇、七 同 一〇、七、二九 同 一、二、三、六 同 一、三、二、三 昭和 二、三、二二 同 二、三、二二 同 二、六、二七 同 四、七、二二	鐵道技師	金子寬 石川鼎 渡邊直也 小野諒兄 安 倍強 今 村眞護喜 清 水三藏 佐 武正一
擔當技師	大正九、四、一七 同 一、二、一七 同 一、三、一六 同 一、三、一六 昭和 二、四、二七 同 四、七、二七	同	佐 橋信一 淺 間逸雄 田 中惠 四 十萬小平 近 藤鐵太郎 下 村忠治

三二

604
54

從事職員

種市、陸中八木間	種差、種市間	八戸、種市間
宿戸詰所	澁谷詰所	湊詰所
至自 大正一四、三、一六、一五一	至自 大正一四、三、一四、一〇一	至自 大正一三、一、一、二七六
雇同同技 手	同同同雇技 手	同同同同同同同雇同 機關助手 機關手
藤田哲郎 穴戸忠雄 鹽澤米吉 瀧川重孝	川井孝吉 小田島清吉 片方長助 貴船唯一	伊東義雄 田中善治郎 三浦正助 野口福太郎 大澤熊太郎 大鷹潔 藤田哲郎 柴内興一 白波瀨浪藏

三五



詰所從事職員表

區	間	詰所名	廢設置	年 月 日	官 職	氏 名
電氣掛主任	同	大正一、七、一一	同	大正一三、六、一六	同	荒一四
同	同	同	同	同	同	畑山正平
同	同	同	同	同	同	村上虎五郎
同	同	同	同	同	同	畑山正平
同	同	同	同	同	同	白幡文雄
同	同	同	同	同	同	福永雅美
建物掛主任	同	大正九、四、	同	同	同	松本良行
同	同	同	同	同	同	行壽菊五郎
同	同	同	同	同	同	田崎壽助
技術掛主任	同	大正九、四、	同	大正一三、一、二、一一	同	後藤順吉

從事職員

三四

604
54

昭和五年三月廿二日印刷
昭和五年三月廿五日發行

(非賣品)

發行者

鐵

道

省

東京府荏原郡荏原町戸越七百七十三番地

印刷者

片岡

穰

604
54

三
二
一

三
二
一

三
二
一

604
54

604
54

